

官報

號外

明治三十一年六月一日

水曜日 內閣官報局

第十二回 貴族院議事速記録第九號

明治三十一年五月三十一日(火曜日)午前十時十二分開議

議事日程 第九號 明治三十一年五月三十一日

午前十時開議

第一 國籍法案(政府提出) 第二讀會ノ續(特別委員報告)

第二 一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第四 政府發行紙幣通用廢止ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第六 特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第八 集會及政社法改正法律案(衆議院提出) 第一讀會

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十 市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

第十二 市制中追加法律案(衆議院提出) 第一讀會

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉 第一讀會

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ報告ヲ致シマス

(淺田書記官朗讀)

昨三十日本院ニ於テ判決シタル久米唯次君選舉爭訟ノ件ハ直ニ之ヲ奏上シ其ノ議決ノ謄本ヲ原告及被告ニ送達シ且ツ久米唯次君ノ位列ヲ停止シタルヲ議長(公爵近衛篤磨君) 昨日御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ヲ御報道致シマス

(中根書記官朗讀)

水害地方地租特別處分法案特別委員 子爵林 友 幸君

子爵久我 通久君 伯爵大村 純雄君 子爵三好 退藏君

子爵折田 平内君 西村 亮吉君 原 善三郎君

保安條例廢止法律案特別委員 伯爵大河内 正質君 男爵大原 重朝君 子爵伊東 祐督君

子爵大河内 正質君 男爵大原 重朝君 子爵伊東 祐督君

男爵新田 忠純君 石井省一郎君 山中 幸義君

郡制中改正法律案特別委員 公爵德川 家達君 伯爵上杉 茂憲君 子爵唐橋 在正君

男爵小畑 美稻君 柴原 和君 男爵藤村 紫朗君

渡 正元君 武井 守正君 中西 光三郎君

○男爵伊達宗敦君 私ハ資格審査委員ノ一人デアリマスルガ、辭任ヲ願ヒタ

イト思ヒマスガ此場合ニ述ベテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵伊達宗敦君 唯今申上デマスル通私ハ資格審査委員ノ一人デアリマス

ルガ、此度爭訟ニナツテ居リマス事件中兵庫縣ノ被告人タル斯波與七郎ト云

フ人ハ私ハ未ダ面識モアリマセヌデゴザイマスケレドモ少シク私ニ關係ノア

ル者デアリマス、ソレハ細カニ申シマス、サウ云フ遠縁ノ者デアリマスケレ

ス波與七郎ナル者ノ妻ニナツテ居リマス、サウ云フ遠縁ノ者デアリマスケレ

ドモ幾分カ關係ノアル者ト私ハ考ヘマス、實ニ委員會ノ如キハ神聖ノ上ニモ

神聖ヲ保タネバナラヌト存シマスカラ關係人タル私ガ委員ニナツテ居ルコト

ハ甚ダ穩デナイ、德義上穩デナイト存シマス、此事ハ疾ニ申上デベキコトデ

アリマシタガ、甚ダ迂闊デアリマシタ實ハ昨朝マデ必付カズニ居リマシタガ、

昨日此被告人ノ名前ヲ見テ段々考ヘテ見ルト唯今申上デルヤウニ關係デゴザ

イマスカラ、ドウカヲ見テ此資格審査委員タルコトハ辭任ヲ願ヒタイト思ヒマ

ス、冀ハクハ滿場ニ御諾ヒ下スツ御開居ニナラントヲ冀望致シマス

○村田保君 唯今伊達男爵カライテシテ辭任ノ請求ガ出マシタデゴザイマス

ガ、本員ノ考ヘマスル所デハ一向ソレニハ及ブマイト存ズル、何故ト申シマ

スルニ規則デ見ルト云フト、現ニ自分ガ被告ニナツタ人デモ議場ニ列スルコ

トガ出來ルガ唯投票ノ際ニ可否ノ數ニ這入ラヌト云フダケデゴザイマス、其

親戚上ノコトナゾハ一向規則上ニモ見ヘマセズ、若シ此遠イ縁故ノコトヲビッ

バリ出シテ來マシタナラバ多少誰デモサウ云フ場合ガアルダラウト思ヒマ

ス、斯ノ如キコトヲ以テ委員會ガ一々辭サル、ト云フコトニナリマシタナラ、ド

ウモ資格委員ハ將來ハ種々ナ縁故ノタメニ始終辭スト云フコトノ例ヲ惹起ス

コトニナリマセウカラ、トウゾ此辭表ハ御聽居ニナラヌヤウニ滿場諸君ノ御

賛成ヲ願ヒマス

○男爵伊達宗敦君 尙ホ申上デマスガ唯今村田君カラ規則上云キト御述べニ

ナリマシタガ私モ別ニ規則ニ拘ツテ申上デル譯デハナイ、是ハドウモ德義上

穩カデナイト存シマス、成ル程斯ウ云フ例ガ啓カレマスレバ將來宜シクナイ

ト云フコトハ一應御尤デアリマスガ現ニ此期ニ於キマシテ特別委員……常任

委員タル資格審査委員ノ選舉ノ時分ニ三好退藏君モ此爭訟事件ノ中ニ關係ガ

アルト云ツテ辭任ヲシタイト云フコトヲ申出サレタ、私共モソレハ德義上如

何ニモ尤モト感服シテ居リマシタ、三好君ノ時ニ聽居ケラレタコトデアリマ

ス

委員辭任許否ノ件

九七

スカラドウカ是ハ委員會ノ神聖ヲ保ツト云フコトニ重キヲ置カレテ辭任ヲ御聽屆ニナルヤウニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 唯今伊達男爵ヨリ御請求ニナリマシタ辭職ノコトニ就キマシテハ、唯今伊達君ガ辯ゼラル、通、先ニ三好君ノ例モアリマス、コレ故ニ親戚トカ又ハ職業上等ノ區別ハアリマス、ケレドモ關係ノアルト云フコトニ至ッテハ同ジコトデアリマス、依ッテ聽屆ケラル、ガ相當ノヤウニ考ヘラレマス、サリナガラ先ニ三好君ノ時ニ聽屆ケラレタノハ少シ不都合デアツタト云フコトヲ今日ヨリ考ヘルノデアリマス、殊ニ特別委員デハナイ……其事件一事ヲ調ベルニハ、諱忌ヲ避ケラル、ハ至極尤デアリマス、三好君ハドレニ關係ガアルカ、四ッ共ニ關係ガアルトモ思ハレマス、其一箇條ニ關係ノアルタメニ特別委員デハナクシテ常任委員デアアル、常任委員ヲ辭セラル、ト云フハ少シ譯ノ分ラヌコトデハナカッタラウカト今日思フノデアリマス、其時ハ私モ贊成シマシタガ、是ハ特別委員デナクシテ常任委員デアアルカラ、如何ナルモノガ先キニ出ルヤラモ知レヌ、唯一件ノタメニ設ケラレタ委員デナイノデアアルカラ辭スルニハ及バナカッタと思フ、若シ其件ニ就イテ屑シトセナイナラ其件ダケ諱忌セラルレバ濟ムと思フ、伊達君ノ言ハレル通先例ハアルケレドモガ先例ハ宜シクナイ例ト思ヒマスニ依ッテ伊達君ニ其御心持ガアルナラ同伴ノ訴訟ノミハ忌避サレテ常任委員タル資格審査委員ハ御辭退ニナラナイ方ガ相當デアラウト思ヒマス、私ハ此理由ヲ以テ先ニ例ノアル所ノ三好退藏君ノ例ハ非例ト認メテ伊達君ノコトハ御開屆ニナラヌ方ガ相當デアラウト思ヒマス

〔曾我子爵ニ贊成ト呼フ者アリ〕

○男爵伊達宗敦君 チョット私ハモウ一言申述ベテ置カナケレバナラヌ、少シ剛情ヲ言フヤウニナツタ穩デナイカ知レマス、唯今曾我君ハ三好君ノハ一事件ダケヲ忌避サレタ宜カッタラウ私ニ於テモ關係ノアル兵庫縣ノ一事件ダケヲ避ケレバ宜イト云フコトデアリマス、成ル程ツレデモ宜イカ知レマス、サウシマス、誠ニ一ツ困ルコトハ兵庫縣ノ事件ニ附イデハ委員ノ數デ云ヘバ八人デアツタト云フコトニナル、成ル程委員會ヲ開クニ附イテ事故若クハ疾病ノタメニ臨時其會ニ出席ヲ斷ルト云フコトハ出來マセウガ、例ヘバ私ハ開期中ニ一週間ノ請暇デモ出シタ曉ニハ如何デセウカ、即チ補缺選舉ヲ行ハナケレバナラヌト云フコトニナリマス、ツレデ此一事件ダケニ附イテ出席ヲ避ケルト云フコトハ少シ工合ガ惡クハナイカト思ヒマス、併ナガラ是モ諸君ニ於テ差支ナイカラ此一事件ニ附イテハ實際八人ニナツテモ宜イカラツレダケ避ケレバ宜シイト斯ウ云フ御考デアリマスレバ私ハ謹デ其命ニ……

○子爵曾我祐準君 議長……

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ハ何デスカ、モウ既ニ御述ベニナツタノデアリマセウ……

○子爵曾我祐準君 今ノ伊達君ノ說ニ附イテ私ノ說ヲ固持スルタメニ辯シマ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハ行ケマセヌ、同一問題ニ就イテ二回ノ發言ハ行ケマセヌ

○子爵曾我祐準君 發言デハアリマセヌ、誤解サレテ居リマスカラ辯シマス、伊達君ハ委員ト云フモノハ九人ナケレバ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 併シツレハ討論ニナリマスカラ行ケマセヌ

○子爵曾我祐準君 説明ハ出來マセヌカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハ御控ニナツタ宜カラウト思ヒマス、是ハ單純ナ問題デアリマス、直ニ決シテ宜カラウト思ヒマス

○子爵堀田正養君 チョット伊達君ニ御尋ネ致シタイ、本員ノ所ハ席ガ遠イタメニ今御述ベニナツタ理由ガ分リマセヌ、決テ御採リニナリマセウガ起立ニ困リマスカラ簡單デ宜シウゴザイマスガ大體ノ御趣意ヲモウ一遍御述ベテ願ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハ此處カラ御話ヲ致シマセウ、伊達君ノハ資格審査委員ニナツタ居ッタケレドモ此最後ニ出タ所ノ兵庫縣ノ多額納稅者ノ資格問題ニ就イテハ被告ノ方ニ遠イ關係ガアル、親類上ノ關係ガアルカラツコデ自ラ是ハ德義上辭シタ方ガ宜カラウ、斯ウ云フ御考カラ辭サレタノデアリマス、ツレニ就イテ滿場ニ問フノデアリマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ起立ニ御問ヒニナルナラバ暫時退席致シマス、ナゼナラバ可否ニ加ルコトハ出來マセヌカラ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス……伊達男爵ノ請ヲ容ル、ヤ否ヤノ決ヲ採リマス、伊達男爵ノ辭表ヲ許可スベキトスル諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公爵近衛篤磨君)

然ラバ伊達男爵ノ辭職ハ許サヌコトニナリマシタ
○男爵小澤武雄君 本員ハ過日谷子爵ヨリ質問趣意書ガ提出ニナツタ居ル所ノ渡邊檢査院長ガ不法ノ上奏ニ係ル質問趣意書ノ政府ノ答辯ヲ御急ギ願ヒタイノデ、其次第ハ本員ハ決算委員ノ一人デゴザイマス、昨日決算委員ノ第三科即チ私ノ擔當ノ所ヲ開イテ將ニ其決算ヲ議サント致シマシタ所ガ當年ノ決算ハ諸君ノ御承知ノ通臨時軍事費ノ項デアツテ其金額ト云フモノハ二億何千万圓ニ上ツタ居ル、所ガ是ハ元豫算ガアツテ支出ニナツタモノデモナシ調査ノ仕様ニハ甚ダ困ツタ居ル、所ガ是マデノ決算報告ノ調査ノ仕様ト云フモノハ多クハ檢査院ノ報告ニ據ツテ其可否ヲ定メルヤウスルガ、彼ノ前ニ申シタ質問趣意書ニ在ル通ニ檢査院ハ其時ニ於テ不法ノ上奏等モアツタヤウナコトデアリマス、若シ之ヲ不法トスレバ其時ニ於テ檢査シタル所ノ此決算ト云フモノハドウ云フモノデアラウカ、大ニ是ハ疑問ノ中ニ置カナクテハナラナイ、ツレデ決算委員ニ於テハ明日決算委員ノ總會ヲ開イテ此審查ノ方針ヲ定メルコトヲ議スル答ニナツタ居リマス、第一ニ此間質問ニナツタ居ル所ノ答辯ヲ得タナラバ便宜デアラウト思ヒマス、隨分政府モ答辯ニ困ツタ居ルカ大分日數ガ經ツテ今以テ何ノ返答モゴザイマセヌガ、政府ノ困ルヲハ當院ノ關係スル所デハナイカラドウゾ御催促ヲ下スツテ成ルベク至急ニ答辯ニナルヤウニ御取計ヲ請ヒタイノデアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 承知致シマシタ、早速其手續ヲ致シマス、是ヨリ本日ノ日程ニ移リマス、國籍法案政府提出第二讀會ノ續、特別委員長報告

(子爵谷干城君演壇ニ登ル)

○子爵谷干城君 此法案ハ本員既ニ再付託ヲ御斷リ致シタニモ拘ラズ御許シガナクシテ遂ニ再ビ調査ヲ致スコトニナリマシテ調査ヲ致シタデアリマス、デ其際ノ論ノゴザイマシタ點ヲ取摘ウデ御話ヲ申上ゲルコトニ致シマセウ、他ハモウ別ニ議論ハゴザイマセザツタ議論ノゴザイマセザツタ所ハ申シマセヌ、此十三條ノ所ニ於キマシテ委員ノ中ノ一人ヨリ議論ガ出マシテ随分ヤカマシキ議論ニナリマシタノデアリマス、ソレハ最初ノ委員ヲ命ゼラレタ時モ御話ヲ申上ゲタト思ヒマスガ、詰リ此十三條ニ於キマシテハ或ル場合ニ於テハ已ミテ得ズシテ例ヘテ言ヘバソレハ日本人、妻ハ外國人ト云フヤウナ結果ニナルノデ、詰リ此夫婦ハ一體ノモノデアアル、夫婦一體ノモノデアリナガラソレガドウモ國籍ヲ異ニスルハ甚ダ宜シクナイ、何處ニモマデモ夫婦一體デナケレバ歸化ヲ許サヌト云フ論法ヨリシテカラニ此十三條ノ所ニ削除ヲ加ヘルト云フ説ガ起リマシタ、デ此論ガ最初本員杯モ其考ヲ起シテ既ニ一夜讀シテ此所ヘ書入レテ居リマスルガ、夫婦ハ一體ノモノナリ、夫婦合意ナラズシテ先ヅ夫ニ歸化セシムルハ不都合ナラズヤト云フ、是ハモウ最初私モ起シテ論デ、丁度同ジヤウナ論法カラシテ議論ガ出マシタ、一應誠ニ尤モノヤウニアリマスルガ併ナガラ私モ色々ト考ヘ又質問ヲシテ結果トシテ社會ノ大第二錯雜ニナツテ來ル結果トシテハドウモ是ハ已ミテ得ヌコトデ、單ニ之ヲ其歐羅巴ノ遠イ所ヘ目ヲ著ケテサウシテソレニノミ考ヲ下スト大變ムヅカシイヤウニアルガ併ナガラ支那朝鮮ト云フヤウナ此鄰國手近イ所ノコトニ考ヘテ見マスルトトントソレ程不都合トハ思ハヌ、例ヘテ申セバ古イ歴史ヲ見マシテモ鄭芝龍ノ子ノ鄭成功、是ハ即チ日本ノ婦人ト通ジテ出來タ人間デアアル、社會ガ近ウナツテ來ルト斯ウ云フヤウナコトハ多カラウト思フ、ソレデ鄭成功ノヤウナ人が段々出來テカラニ支那ノ危イ所ヲ助ケ從ツテ日本ノ名譽ヲ揚ゲルト云フヤウナコトハ今後隨分憎ムベキコトデハナカラウト本員杯ハ考ヘテ居ル、又古イ例デ申セバ明ノ朱舜水杯云フ者ハ明ノ滅ビタ結果トシテコチラヘ逃ゲテ來タ所ガ其子ヤ女房モ皆アチラニ居ル、所ガ是等ハ遂ニ其子杯ハ長崎ヘ來タケレドモ舜水ハ還シテ逢ハザツタト云フヤウナコトモアル、ソレデサウ云フヤウナ古イ歴史カラ考ヘテ見ルト何モ此已ミテ得ヌ場合ニ夫婦別ニナツテ居タ所ガ左程不都合ハナイト云フコトノ本員杯ハ追々研究シテ結果トシテ發明シタ所デアアル、デ遂ニ色々論ガアリマシタケレドモ此説ハ成立チマセズシテカラニ消滅シマシテゴザイマス、併シ此事ニ於キマシテハ或ハ最初ノ論者ヨリ再ビ説ヲ一個人トシテ……一個ノ議員トシテ説ヲ起サルルカモ知レヌト云フ豫言モサレテ居リマスルカラシテハ或ハ出マスルカモ分リマセヌ、此事ダケケマア一ツ御報道シマス、ソレカラシテ此第十六條ノ所ニ於キマシテ是亦隨分論ガ出マシテゴザイマス、ソレデ或ル説ニハ宮内省ニハ一切外國人入ルベカラズ、ソレデ殊ニ内膳職ト云フヤウナ所ハ甚ダ危險デアアル、追々世ノ中ノ景況ニ依ツテ社會黨ノ如キモノ虛無黨ノ如キモノガ傳染シテ來ルカモ知レヌ、其際ノ心配モアルカラト云フノ説モ出マシタ、此論モ誠ニ其前途ヲ慮リ皇室ノ御爲ヲ思ハルハ上ニ於キマシテハ實ニ御同感デアアル、然カシマスルニ是等ノ事ヲ豫防スルニ方ツテハ連モ此外國人ニ單ニ限ルコトデハナイ、何所ニサウ云フ者ガ生ズルヤラモ知レナイ話デ、ソレ等ノコトヲ慮ルガタメニ外國人ヲ之ニ宮内省ヘ一人モ入レヌト云フコトハドウモ其當ヲ得

マイ、又外國人ニ於テハ時宜ニ依リ隨分宮中ノ事ヲサセテ大變御便利ナ事柄モアルデアラウ、之ヲ一人モ這入ラセヌト云フヤウナコトニナツテハ甚ダ窮窟デアリシクナイト云フ説ガ多數ニナリマシテ遂ニ其説モ消滅シマシテゴザイマス、デ是等ノ説ニ於テハ誠ニ國家ヲ思ヒ皇室ヲ思フノ厚イ御考デアリマスルカラ其主意ヲ誰モ排撃スルノデアアリマセヌガ併シソレハ餘リ杞憂ノコトデアラウ、サウマデモセイドモ、宜カラウト云フガ多數デ遂ニ消滅シタノデ、決シテ精神ヲ排撃シタノデハナイ、ソレデ此修正ニナツテ居リマスル皆御手許ヘ配付ニナツテ居リマスル所デゴザイマスガ國務大臣……第一項ニ「國務大臣宮内大臣又ハ内大臣」トアリマスル所ヲ、是ハ宮内大臣ト内大臣トヲ削リマシテゴザイマス、削リマシテモ先ニ此三項ノ所ニ「宮内勅任官ト爲ルコト」ト斯ウ舉ゲテゴザイマス、之ヲ以テカラニ此總テ宮内省ノ重要ナル位置ニ居ル人ハ濫ニ歸化人、歸化人ノ子ヲ用ヒナイト云フ精神デ宮内勅任官ト爲ルコト、書キマスルト宮内大臣モ即チ此親任官ト云フ者モ勅任官中ノ親任官デアリマスルカラ總テ籠ツテ居ル、ソレデ斯ノ如ク修正ヲ致シマシテゴザイマス、又此修正ノ結果トシテカラニ項ハ三ガ四ニナリ四ガ五ニナルト云フヤウニ變ツテ參リマシタ、サウシテ五ノ宮中顧問官ト云フノモ宮内勅任官ノ中ニ籠ルモノデゴザイマスルカラシテ自然ノ結果トシテ削除ニナツタノデゴザイマス、デ色々御論モアリマスシマシタケレドモ遂ニ右ノ修正ニ止ツテ別ニ是ト云フ御名案モ出マセヌデ決シマシテゴザイマスル、ドウカ其御含デ御評議ヲ願ヒタイト存ジマスル、又文ノ御質問等ニ至リマシテハ政府委員ガ出テ居ラル、カラ政府委員ニ御質問ニナランコトヲ願フノデアリマス

○伯爵坊城俊章君 委員長ニチヨット質問ガゴザイマス

○伯爵坊城俊章君 私ニ……

○伯爵坊城俊章君 へー、此十六條中ニ即チ宮内勅任官ノ次ニ陸海軍將官ト云フコトガゴザイマス、是ハ陸海軍ノ將官バカリデ相當官ノコトハナイノデゴザイマス

○子爵谷干城君 左様デゴザイマス、相當官ト云フモノハ陸軍ノ方ニ備ツテ居ル者ハ自然ト……譬ヘテ申セバ會計ノ方トカ醫者トカ云フ者ハ將官ノ中ニ籠ツテ居ル譯ト信ジテ居リマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 是ヨリ逐條審議ニ移リマス、第一條ヨリ第七條マデヲ問題ニ供シマス、一應朗讀ヲ致セマス

(淺田書記官朗讀)

○議長(公曾近衛篤磨君) 第一條ヨリ第七條マデ御異議ガナクバ原案ニ決シマス

(異議ナシト述フル者アリ)

○議長(公曾近衛篤磨君) 次ハ第八條ヨリ第十六條マデ問題ニ供シマス

○高島信茂君 議長

○議長(公曾近衛篤磨君) 高島君ハ何デスカ……朗讀ヲ……

(國籍法案第八條乃至第十六條ハ五月二十四日官報號外貴族院議事速記附錄四二、四三頁ニ載ス)

委員ノ修正

第十六條 歸化人、歸化人ノ子ニシテ日本ノ國籍ヲ取得シタル者及ヒ日本

人ノ養子又ハ入夫ト爲リタル者ハ左ニ掲ケタル權利ヲ有セス

一 國務大臣ト爲ルコト

二 樞密院ノ議長、副議長又ハ顧問官ト爲ルコト

三 宮内勅任官ト爲ルコト

四 陸海軍ノ將官ト爲ルコト

五 大審院長、會計検査院長又ハ行政裁判所長官ト爲ルコト

六 帝國議會ノ議員ト爲リ又ハ之ヲ選舉スルコト

(發言ヲ求ムル者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) マダ修正案ガ一ツアリマスルカラ朗讀致シマス

(淺田書記官朗讀)

第八條 削除

第十三條 日本ノ國籍ヲ取得セントスル者ニシテ妻アル者ハ夫婦共ニスル

ニ非レハ歸化ヲ爲スコトヲ得ス

第十四條 削除

第十六條中

一 國務大臣又ハ宮内官ト爲ルコト

五 全權公使辦理公使又ハ代理公使ト爲ルコト

○村田保君 唯今ノ修正ハ唯今出マシタノデゴザイマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君) 先刻出マシタ

○村田保君 ドウモ錯雜シテ分ラヌヤウデゴザイマスガ、如何デゴザイマス

カ、八條ナラハ條カラ一條ツツ決ヲ採ッテ行クコトニシテ戴キタイ、エライ

錯雜イタシマスカラ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ハ關聯シテ説明ヲシタイト云フ發議者ノ請求デ

アリマスカラ問題ニ供スルニハ關聯シテ問題ニ供シ、採決ノ場合ニハ別々ニ

スル積リデアリマス

○岡内重俊君 本員モ第十六條ニ就キマシテ聊カ修正ノ意見ガゴザリマスガ

本案ハ未ダ草案トシテ議長ヘハ提出致シマセヌ故本員ノ修正ハ議場ニ於テ臨

時ニ二十名ノ賛成者ヲ得マセヌケレバ成立チマセヌガ試ニ其修正ノ點ヲ今陳

述致シマセウカ、其時機ハ何レノ場合ニ致シマセウカ、委員ノ修正ヲ第一トシ

テ渡君ノ修正ヲ第二トシテ、ツレヨリ本員ノ修正ト斯ウナリマセウカ、或ハ

唯今修正ノ廉ヲ陳述致シマシテ宜シウゴザリマスガ、是ハ議長ノ御指揮ニ從

ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 岡内君ノ修正ハ第十六條ダケノ修正デアリマスガ

○岡内重俊君 左様デゴザリマス、第十六條ノ一項カラ六項ニ附イテノ修正

デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ採決ヲシ來ッテ第十六條ニ至ッタ時分ニ御

説明ヲ願ヒマス

○渡正元君 此問題ニ附イテ本員ハ意見ヲ述ベマシテ宜シウゴザイマスガ

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

(渡正元君演壇ニ登ル)

○渡正元君 諸君、本員ハ此國籍法案ノ過日第二讀會ノ始ニ於テ特別委員再

付託ト云フ決議ニナリマシタ際ニ於キマシテ追加セラレタル所ノ特別委員ノ
一人デアリマス、而シテ本員ガ此委員會決議ノ報告案ニ對シテ尙ホ修正ノ意
見ヲ提出スルト云フコトハ敢テ一己ノ意見ヲ主張スルニアラズシテ國籍法案
即チ歸化法ノ性質トシテ國家將來ノ利害ヲ考フルノ點ヨリシテ已ムヲ得ズ更
ニ之ヲ議場ニ提出シテ滿場諸君ノ御判斷ヲ仰ギタイト考ヘマス、本員ガ修正
ノ意見ハ前ニ書記官ヨリ朗讀ニナリマシタケレドモガ書類ガ御手許ニ回ッテ
居リマセヌ故ニ御聽取ガ不十分ノ廉モ有ルカト思ヒマスカラ更ニ改テ本員ヨ
リ朗讀ヲシテ御參考ニ供シマス、第八條ハ削除致シマス、第八條削除、第十
三條ヲ修正致シマス、第十三條、日本ノ國籍ヲ取得セントスル者ニシテ妻アル
者ハ夫婦共ニスルニアラザレバ歸化ヲ爲スコトヲ得ズ、第十四條削除、第
十四條ヲ削除致シマス、次ニ第十六條、此本文ハ無論原案ノ通ノ積リデアリ
マス、而シテ第一號ヨリ第六號ノ間ニ於テ修正ヲ加ヘマスルノデゴザイマス、
第十六條中ノ一、國務大臣又ハ宮内官ト爲ルコト、二、三、四等ハ原案ノ通、第
五、原案ニ宮中顧問官トアル所ヲ第五號ハ全權公使辦理公使又ハ代理公使ト
爲ルコト、

(男爵伊達宗敦君「チヨット能ク分リマセヌデシタ、モウ一遍」ト述フ)
第五號、全權公使、辦理公使又ハ代理公使トナルコト、

(男爵伊達宗敦君「サウスルト宮中顧問官ハ其上ニ置イテ其儘……」ト
述フ)

宮中顧問官ハ削リマシテ之ニ換フルニ右ノ通

(男爵伊達宗敦君「分リマシタ」ト述フ)

是ヨリ本員ガ修正説提出ノ理由ヲ陳述致シマス、修正ノ順序ト致シテ第八條
ノ削除ヨリ其理由ヲ陳述致ス答デアリマスケレドモ第八條ノ削除ハ第十三條
ヲ修正シマスルニ依ッテ第十三條ヲ修正スルノ結果トシテ第八條ヲ削除スル
ト云フコトニナリマスノデ、依ッテ順序ヲ變換シテ先ツ先キニ第十三條ヲ修
正スルト云フコトノ趣旨ヲ是ヨリ陳述致シマス、本案第十三條「日本ノ國籍
ヲ取得スル者ノ妻ハ夫ト共ニ日本ノ國籍ヲ取得ス但夫カ日本ノ國籍ヲ取得シ
タルコトヲ知リタル後一箇月内ニ反對ノ意志ヲ表示シタルトキハ此限ニ在ラ
ス」第二項「前項ノ規定ハ三云々トゴザイマス、此第十三條ノ精神ハ國籍法、
即チ歸化法普通ノ原則ニ依ッテ先ツ夫婦同一ノ國籍ヲ保ツト云フコトヲ定メ
テアル、是ハ即チ諸君モ御承知ノ通歐米各國中ニ於テモ概シテ夫婦ハ共ニ同
一國籍ヲ保ッテ法律ノ錯雜ヲ避クルト云フコトガ原則ニナッテ居リヤウニ承ッ
テ居リマス、併シ其外一二ノ國ニ於テハ夫婦雖モ其國籍ハ異ニシテモ差
支ナイ、甲ノ國ニ於テ夫婦ノ者ガ夫一人乙ノ國ヘ入籍シ其國ノ國籍ヲ取得シ
テモ妻ハ依然ト甲ノ國ノ籍ヲ持ッテ居リマシテモ宜シイト云フ法律ヲ極メテアル
國モ二三アルコトノヤウニ承ッテ居リマス、是ハ國籍法ノ即チ變則トモ申スベ
キモノデアラウト考ヘテ居リマス、歐羅巴各國並ニ其他ノ國ニ於キマシ
テ……先ツ例ヲ歐羅巴ノ上ニ於テ取リマスルト歐羅巴諸國ノ有様ハ諸君モ
御承知ノ如ク土壤相接シテ其都ト都トノ間ノ距離ト云フモノハ近キハ五六時
間或ハ遠キモ二十時間若クハ二十餘時間テ達スル位ナ間テ國ヲ相接シテ居ル
歐羅巴大陸ノ地ヲ離レテ居ル國ニシテモ英吉利ノ如キ倫敦ト巴里ノ間ハ十二
時間ニシテ達スルト云フ位ノモノデアリマスルデ之ヲ日本ノ地ニ喻ヘテ考ヘ

羅巴人デ本國ニ居ルト斯ウ云フモノデアッタナラバ一家統一法律錯雜ノ弊ヲ免ル、コトハ甚ダ難イ、其妻ガ夫ノ見舞ノタメニ日本人トナツテ居ル夫ノ所ニ免ル、コトハ甚ダ難イ、其妻ガ夫ノ見舞ノタメニ日本人トナツテ居ル夫ノ所ニ來ツタトキニ夫ハ日本人デアアルガ妻ヲ見ルコトハ外國人ヲ以テ、法律上ノ取扱ヲシナケレバナラヌ、是ハ甚ダ錯雜ヲ來スノ基ヲ開ク、其端緒ヲ開クコトニナリマスル又日本人ニ新ニ歸化セントスル者ハ夫婦共ニスルニアラサレバ之ヲ許可シナイト云フタナラバ何程ノ不便ガアルカ、何程ノ苦痛ガアルカ、日本ニ來ツテ日本人トナツテ日本帝國ノタメニセントスル者ナラバ一人來ツテ妻ヲ跡ニ遺シテ置イテ日本ニ寄留スルガ如キ存念デ來タモノハ逆モ日本帝國ノタメニ利益ヲ爲スト云フコトハ甚ダ覺束ナイ、ツレヨリモ前ニ申スガ如ク一己營業ヲ爲シテ利益ノ目的ヲ爲シタナラバ日本ノ國籍ヲ取得シテ日本人トナツテ國內ノ事業ヲ爲シテ利益ノ目的ヲ爲シタナラバ日本ノ國籍ヲ脱シテ再ビ本國ニ復籍スル、若シ又目的ノ利益ヲ爲シ得ラレデ失敗シタナラバ又失望シテ亦日本ノ國籍ヲ脱シテ本國ニ復籍スル、斯様ナ者ガ多キニ居ルダラウト思ヒマス、如何トナレバ夫婦共ニ來ツテ日本人トナツテ日本ノタメニスル竝ニ其夫婦一家ノタメニ利益スルト云フ存念ハ先ヅ以テナイモノト考ヘナケレバナラヌ、故ニ日本ニ於テ始テ定メル所ノ歸化法ニ於テ夫婦別々ノ國籍ヲ持ッテ居ル者デモ夫一人ダケ歸化ヲ許スト云フコトヲ定メルノハ以ノ外ノ不都合、國家將來ノ弊害ヲ醸シ成スト考ヘマス、然レドモ或ハ之ニ反對スルノ論者ハ夫婦別々ニ國籍ヲ取得スルコトハ出來ナイト云フ歸化法ヲ定メタナラバ日本ノタメニ利スル者デアッテモ一人デアアルニ依ツテ其者ヲ許スコトガ出來ナイ、是ハ甚ダ不都合デアハナイカ、餘リ狹イ論デアハナイカ、夫婦デナケレネバ國籍ヲ取得セメヌト極メタナラバ例ヘバボアツナード氏ノ如キ其他碩學大家ノ人ガアッテ日本ノタメニ來ツテ日本ノ國利ヲ圖ラウトシテ日本ニ歸化ヲ願出テモ其妻ハ夫婦不中ノ故ニ本國ニ留ツテ居ツテ決シテ夫ト共ニ日本ニ來ルコトハ肯ジナイ、斯ウ云フ場合ガアツタトキニ碩學大家ガ偶々日本國ヲ利セントシテ來ル者ヲ此法ノタメニ容ル、コトガ出來ナイ、是ハ甚ダ窮竅ナコトデアハナイカ、ツレヨリモ一人デモ宜シイ、妻ハ遺シテ置イテ夫一人デモ宜シイ、日本ニ來ツテ日本ノタメニ利セントスル者デアアルナラ許シテ差支ナイデアハナイカト斯ウ云フ反對ノ論者ガアルカモ知レナイ、然レドモ其反對論者ハ其一ヲ知ツテ其二ヲ知ラザルモノト本員ハ考ヘル、假ニ今設ケタ所ノ反對論トシテ見テモ碩學大家其他國家ニ利益ノアル所ノ非常ナ人才ガ一人來ツテ日本ニ歸化シタイ、而シテ日本ノ國利ヲ圖ルモノト斯ウシテ見タ所妻ハ外國人デアリマス故ニ一人デアアル、一人デアアルコトハ許サレナイト云フコトニナツテハ國ノタメニ不利益デアハナイカト云フ反對ガアルナラバ其點ニ附イテハ同感ヲ致シマス、本員モ同感ヲ表ス然レドモ本員ガ其一ヲ知ツテ其二ヲ知ラザルト申シタノハ我國家ノタメニ利スル者ノミ來ルト斯ウ假定シテ夫レノミヲ考ヘタナラバ如何ニモ此喻ヘタ反對論ハ最力アリ最同感ヲ表シナケレバナラヌ然レドモ我帝國ヲ利スルタメニ來ルモノデアアルト豫想スルト同時ニ之ニ反スル一面ニ於テ我邦ノ甚ダ不利益ヲ爲ス者ガ多ク來ルト云フコトヲモ亦考ヘナケレバナラヌ、其我邦ヲ不利益ニナスコト云フコトハドウ云フ者ガ來ルカト云ヘバ之ヲ假ニ一ノ例ヲ舉ゲテ見マスレバ先ヅ投機者流ノ如キ俗ニ所謂山師ト云フガ如キモノガアッテ本國ニ財産アリ妻モ居ル、然ル處日本ニ於テ爲スベキ事業ガアル、

目的ガアル故ニ先ツ夫一人日本ニ歸化シテ日本人ノ資格ヲ得テ其事業ヲ成シ
遂ゲテ一攫千金ノ目的ヲ得タナラバ再ビ日本ノ籍ヲ脱シテ本國ニ復歸スルニ
依ツテ先ツ妻ハ本國ニ殘シテ置イテ財産ヲ主管理セシメテ置ク、左様ナコトハ
隨分歐米カラ來ル者モアラウシ又近ク支那人杯ニ附イテハ最も多イカモ知
レナイ、是モ豫想デアアルカラ斷言ハ出來ナイ、此ノ如キ者ガ屢々出入シ恰モ九
州四國ノ本籍ノ人ガ東京ニ屢々寄留シテ出入スルガ如キモノデアツテ是ハ
本人ノ意思ニ依ツテ勝手ニ出入ガ出來ル、是ガ夫婦共財產ヲ携ヘテ日本ニ歸
化セント希望スルモノナラバ左様ニ一時目的ノ營利ヲ爲シテ忽チ本國ニ復
歸スルト云フガ如キコトハ先ツナイト斷言シテモ宜シカラウ、是ハ人情サウ
ハ行カナイ、又ハ家ノ都合ニ依ツテモサウ夫婦共ニ其財產ヲ擔フテ遠ク遠方
カラ來ッテ日本ニ歸化入籍シテ間モナク又去ッテ日本ヲ去ルト云フコトハ財
產アル者ハ多分出來難イ、浮浪人、無賴者ハ論ノ外デアリマス、依ツテ本員
ガ希望スル所ハ帝國日本ニ於テ今日新ニ制定スル所ノ國籍法即チ歸化ノ條目
ニ於テハ歐米各國普通ノ原則ニ據ッテ歸化セントスル者ハ夫婦共ニスルニ
ラザレバ日本人ノ籍ニ入ルコトハ相成ラヌト云フコトニ定メタイ、又歸化法
ノ性質トシテ初ニ寬ニシテ居ッテ其弊害アリト認メテ後ニ之ヲ嚴ニスルト云
フコトハナカク容易カラヌコトデアリマス、ナカク出來難イ、初ニ嚴ニ
シテ後モ其實際ノ利害ヲ鑑ミテ後ニ寬ニスルト云フコトハ爲シ易イ、初ニ寬ニ
シテ後ニ嚴ニスルト云フコトハ甚ダ難イコトデ此法ノ性質トシテ甚ダ
難イ、又傍ラ外交上ノ關係モアルヤウナ事柄デアツテ容易ニ此後ニ嚴ニスルト
云フコトハ出來ヌシカノミナラズ、各國普通ノ原則ガ必ズ夫婦同一ノ國籍ト
云フコトヲ定メテ居ルノハ歐米諸國多數ノ國ニアルコトデアリマス僅々二三
ノ國ニ於テ夫婦別々デモ宜シイト云フ變則ヲ採ッテ居リマス、是ハ其土地
人情風土ニ依ツテ或ハ適當ノコトモアルカモ知レマセヌガ日本ニ於テハ採ル
ベカラザル變則デアルト本員ハ考ヘマス、依ツテ此第十三條ハ前ニ朗讀シタ
通ノ修正ヲ提出致シテ居ル、次ニ第十四條ハ削除、此第十四條ヲ削除スルト
云フコトハ本員ガ提出シタ所ノ十三條ヲ修正案ノ如ク改メマスレバ第十四條
ハ無用ニ屬スル別ニ論辯ヲ要セス削除致シテ宜シイ、又是ヨリ溯ッテ第八條ヲ
削除スルト云フコトヲ陳述致シマスルガ此第八條ヲ削除スルト申スコトモ第
八條ハ「外國人ノ妻ハ夫ト共ニスルニ非サレハ歸化ヲ爲スコトヲ得ス」ト斯ウ
アリマシテ此第八條ハ妻ノ方カラ申シテ居ル、妻ハ夫ト一緒ニデナケレバ歸
化出來ナイ十三條ノ所ト異ッテ居ルケレドモ本員ガ十三條ノ修正ヲ提出シ
タ結果トシテ第八條モ亦無用ニ屬スル、依ツテ第十三條ノ修正ヲスレバ是
等ヲ包含シテ居リマスニ依ツテ第八條ヲ削除スルノハ別ニ論辯ヲ要セヌ事柄
デアラウト考ヘマス、次ニ第十六條中ニ「號ヲ修正致シマス、即チ第一號
第五號原案第一號ハ「國務大臣、宮内大臣、又ハ内大臣ト爲ルコト」ト斯ウアリ
マス、是ハ即チ大臣ト云フ文字ノ附クモノヲ列ベテアル、而シテ原案第十六
條ノ理由ニ據ッテ見レバ「日本ノ國籍ヲ取得シタル者ニ對シ直チニ本條ニ列
舉スル如キ權利ノ享有ヲ許スハ危險ナリト理由ニ基クモノナリ」ト斯ウアリ
マス、元ト新ニ歸化シタ所ノ外國人ニシテ國務ハ固ヨリ其他重要ナル職務
ハ容易ニ與ヘナイト、斯ウ云フノガ即チ危險ヲ豫防シテ居ルノ趣意デアリマ
ス然ルニ此第一號ニ於テ國務大臣宮内大臣ト斯ウアリマス如何ニモ此

三ツノ者ハ貴重ナルモノ又重要ナルモノデ容易ニ外國人ノ歸化人ヲ以テ任セ
シムベカラザルコトハ論ヲ俟タヌ、然レドモ本案ノ目的ト云フモノハ危險ヲ
豫防スルト云フコトガ目的デアル故ニ是ダケヲ列舉シテ、是ニ列舉スルダケ
ノモノハ、歸化シテ日本人ノ權利ヲ享有スルモノ又憲法何條ニ於テ權利ヲ有
スト云フ明文ガアツテモ、此法律ニ於テ何年間ト云フモノハ之ヲ制禁スル、
容易ニ此重要ナル職務ニ就ケシメナイト、斯ウ云フコトヲ茲ニ列舉スル
ノニ就イテ宮内大臣内大臣ト斯ウ限ッテアルノハ甚ダ受取ラレナイ、或ハ之
ヲ評シテ粗漏杜撰ト云フテモ強チ誣言デハナイカト本員ハ考ヘル、何トナレ
バ第五ニハ宮中顧問官トアル宮中顧問官ノ文字ハ貴重ナル文字ニハ相違ナイ、
然レドモ其實ハワレ程ノ事デモナイヤウニ聞及ブ免ニ角是ダケノ貴重ナル官
職デアルニ依ツテ是ニハ容易ニ任ゼシメテハナラヌ、其危險ヲ豫防セシメナケ
レバナラヌ、斯ウ云フ精神ニハ當ラナイ故ニ或ハ杜撰カ或ハ粗漏ト考ヘナケ
タル此第十六條第一號國務大臣トナルコト、第三號宮内勅任官トナルコト、斯
ウ云フ修正ノ報告ガアリマシタ、此委員會決議ノ報告モ亦其當ヲ得ナイモノ
ト本員ハ考ヘル何トナレバ原案ニ列舉シタルハ危險ヲ豫防スル、危險ナ故ニ
容易ニハ任セナイト斯ウ云フコトニハ特別委員會中ニ於テモ一ノ異議ハナ
イ、諸君皆御同意デ其趣意ニ依ツテ修正セラレタ、然ルニ宮内勅任官ト斯ウ限
レバ最早危險ナシ、ト斯ウ云フコトハ勅任官ト云フモノハ如何ニモ高等ナル官職
デアツテ貴重ナル地位デアルト云フバ勅任官ト云フモノハ如何ニモ高等ナル官職
職ニ於テハ必シモ勅任官ノミガ貴重ナル職務ヲ奉シテ居ルモノトハ斷言致シ
難イ、是ハ滿場諸君モ御承知ノコトデアルニ依ツテ本員ガ別段ニ陳述スルノ必
要モナイト考ヘマス、本員ガ宮内勅任官ト限ッテハ安心ナラヌ其當ヲ得ナイ
ト斯ウ申シマスルノハ勅任官ノ外ニ宮内省中ニ於テハ、陛下ニ咫尺近奉
ル職務モ多クアル、例ヘバ侍從職ノ如キ又侍從局ノ如キ、又皇后宮職、東宮職、
必ズ勅任官デナケレバ重キ職掌ヲ奉シテハ居ナイト斷言シ難イ、宮内省中即
チ皇室ニ職務ヲ奉シテ居ル官職ハ他ノ諸官省トハ大ニ其趣ヲ異ニシテ居ルハ
諸君御承知ノコトデアル、宮内官ニ限ッテ委任官デモ重キ職務ヲ奉シテ居ル、
又下ツテ判任官ト雖モ亦重要ナル職務ヲ奉シテ居ル、故ニ之ヲ勅任官ト限レバ
最早危險ナシト安心満足セラレルノハ甚ダ其當ヲ得ナイト私ハ考ヘル、宮内
官即チ宮内省ニ奉職シテ居ル所ノ人ハ即チ上下共其官職ノ甲乙上下ニ拘ラズ
職務ハ重要ナル事ヲ奉シテ居ルモノト見ナケレバナラヌ、是ハ前ニ申ス通他
ノ官廳トハ一種特別ノモノデアアル、故ニ其權利ノ目的ハ違フケレドモ此節政
府提出ノ衆議院議員選舉法ノ第何條カニ於テモ宮内官ト斯ウ限ッテ一切政治
上ノ選舉競争杯ニハ交ラナイコトニシテ居ル、是ハ事柄ガ違フニ依ツテ茲
ニ其例ニ舉ゲタノデハナレナイガ、宮内官ハ取除ケテアルト云フコトヲ申ス
ノデアアル、故ニ本員ガ希望スル所ハ此第一號ハ國務大臣又ハ宮内官ト爲ルコ
ト、シタイ、或ハ是ニ反對スル所ハ論者ハ宮内官トシタキニハ國務大臣又ハ
宮内官ト云フトキニハ宮内勅任官位ナレハ稍々權衡ヲ得テ居ルガ宮内官ト謂
タナラバ判任官モアル、ソレヲ國務大臣ト同一ニシテハ其當ヲ得ナイ、或ハ
實際ニ就イテ見テモ宮内省中ト雖モ或ハ外國人ノ必要ノ職務ガアル、例ヘバ
大膳職又ハ學習院ノ教官若クハ博物館ノ役員ト云フガ如キハ外國人ヲ必要ト
スル場合ガアル、然ルニ斯ノ如ク鎖シテ容易ニ這入ラレナイト云フ事ニシ

タナバ甚ダ不便ナコトデハナイカト斯ウ云フ反對論ガアルカモ知レナイ、
本員之ヲ考フルニ其反對ハ一理アリト考ヘマス、然レドモ唯利益ニナル事ノ
點ノミヲ考フレバ不都合ト認メナケレバナラヌコトガアルガ、サリナガラ、
モト危険ヲ豫防シテ新ニ歸化シタ外國人ニハ重要ナル官職職務ニ就カシメヌ
ト、斯ウ云フ精神デアアルナラバ宮内省中即チ宮内官ニ五年間若クハ十年間ハ
ナレナクテモ何程ノ差支ガアルカ從前ニ於テモ雇外國人ト云フモノガ隨分重
要ナコトニ關係シテ居ルモアル、雇外國人デ、ソレデ濟ンデ居ル、一向日本
人ニシナイカラ日本ノ官員ニシナイカラ差支ヘルト云フコトハ甚ダ感ジナイ
コトデアアル、歸化法ヲ拵ヘタナラバソレガ差支ガアルト云フコトモ甚ダ了解
シ難イ、デ是等ノ反對論ハ甚ダ薄弱ナル根據デアッテ殆ド反對論トシテハ取
ルニ足ラザルコトデアラウト考ヘマス、依ッテ本員ハ此第一號ヲ國務大臣又
ハ宮内官トナルコト、斯ウ修正ヲ致シマス、次ニ本案第五、即チ政府提出ノ
原案ニ第五、宮中顧問官ト爲ルコト、斯ウアルナレドモ此宮中顧問官モ第一
號ノ宮内官デ網羅包含シテ居リマスニ依ッテ宮中顧問官ノ字ハ無用ニ屬スル、
是ニ代ッテ此場所ヘ持ッテ往ッテ「特命全權公使、辦理公使、又ハ代理公使
ト爲ルコト」ト斯ウ云フコトヲ加ヘタイ、特命全權公使辦理公使代理公使ト申
スモノ、職務ハ即チ日本帝國ヲ代表シテ外國政府ニ對スルノ官職デアリ、外
國派遣ノ官職デアリト雖モ其官職ノ重要ナルコトハ申スマデモナイ、故ニ此
公使ノ職務ハ歸化ノ外國人ニ容易ニ授ケベカラザルコトデアアル、然レドモ或
ハ之ニ對シテ反對ノ意見ヲ述ベル人ハ全權公使ト云ヒ辦理公使ト云ヒ若クハ
代理公使ト云ヒ皆外國派遣ニシテ外國ノ事情ニ通曉シテ居ル人物ヲ要スル、
又外交上ノ技術アッテ巧ナル者ヲ要スル故ニ是等ニハ幸ニ日本ニ歸化シタ所
ノ外國人ガアッテ其技術是ナリト認メタ人物ガアルナラバ速ニ公使ニ任ジタ
所ガ差支ナイ、差支ナイノミナラズ、或ハ外交上便益デアアルカ知レヌ、故ニ
之ヲ禁ズルト云フコトハ甚ダ不都合デアアルト斯ウ云フ反對論ガアルカモ知レ
ヌ、是亦以ノ外ノ了管違ト本員ハ考ヘル前ニ云フ通全權公使其他ノ公使ハ一
國ヲ代表シテ居ル者デアアルニ依ッテ重任ノ職掌ニ在ル者デアアル故ニ容易ク外
國歸化ノ人ニ此職務ヲ授ケベカラズト云フガ本員ノ趣意デアリマス、然レド
モ五年ヲ經過シ十年ヲ經過シタ後ニ其任ニ當リ其技術アリト認メタトキニハ
即チ之ニ就カシムルモ差支ナイコトデアリマス、歸化シテ二年ヲ三年ノ間ニ
直ニ此職務ニ任ズルト云フコトハ以ノ外不都合ト斷言致シマス、依ッテ第五
ヲ全權公使辦理公使又ハ代理公使ト爲ルコト、云フコトニ改メタイト云フ趣
意デアリマス、擬以上述ル如ク本員ガ修正ノ意見ハ既ニ特別委任會再調査ノ
會議ニ於テ提出致シマシテ一二ノ贊成者アッテ問題トナリマシテ討論ノ末終
ニ少數消滅トナリマシタ、本員竊ニ思フニ特別委員會、賢明ナル委員諸君ト
雖モ再調査ノ結果トシテ委員諸君ノ論說ハ既ニ確定シテ居リマス、ノミナラ
ズ其意思ハ先入主トナッテ居ッテ容易ニ之ヲ動スベカラザルモノト本員ハ竊
ニ考ヘマス、然レドモ此國籍法ノ條項ニ至ッテハ國家將來ヲ慮ッテ之ヲ默視
スルニ忍ビヌ故ニ本員ハ更ニ此修正案ヲ以テ議場ニ提出シテ滿場諸君ノ御判
斷ヲ仰ギタイコトヲ希望致シマス

化法、或ハ此歸化法ヲ制定スルトカ云フコトヲ屢々承ッタンデスガ、渡君ハ
此國籍法ハ即チ歸化法ト云フ御考デアアルノデゴザイマスルカ、又ハ其條項ダ
ケヲ指シテ單ニ歸化法ト仰シヤッタノデアアルカ、本員杯ノ考ヘマスル所デアハ、
是ハ決シテ歸化法バカリデハナイ、即チ國籍法デアッテ國籍ノコトヲ主トシ
テ居ルモノト考ヘテ居ル大キニ此法案ノ性質ニ關係ヲ持ッコトデアリマス
ラ渡君ノ御考ヲ一應承ッテ置キタイ

○渡正元君 御答ヲ致シマス、先刻本員ガ演說中ニ國籍法即チ歸化法ト斯ウ
云フタガト云フ御尋デゴザイマスルガ、國籍法タルコトハ既ニ此表題ニ掲ゲ
デアリ、名目デアリマスルニ依ッテ、本員ガ一箇ノ意見ヲ以テ之ヲ歸化法ト
改正シタノデモナシ、歸化法ト認メタノデモアリマセヌ、然レドモ此國籍法
中ニハ御承知ノ如ク初ノ條項ハ民法ト同一ノ文字ヲ加ヘタノガ多クアルケレ
ドモ本員ガ今日壇ニ登ッテ修正ヲ提出スル條項ハ多ク歸化ニ關係シテ居ルコ
トデ即チ歸化ニ關スル條項即チ歸化ニ關スル法ト云フコトヲ列ベテ述ベル代
リニ之ヲ縮メテ國籍法即チ歸化法ト斯ウ申シタノデ、即チ本員ガ修正スル
所ノ條目ヲ指シテ申シタノデ、決シテ之ヲ改名シテ歸化法ト稱シタノデハゴ
ザイマセヌ

○男爵小澤武雄君 其御說明デ諸君ニモ大概御分リニナリマセウ

○子爵曾我祐準君 渡君ニ質問ガ致シタウゴザイマス、渡君ハ段々未來ヲ考
ヘテ略イ御心配ヲ爲サレテ委員會デモ通過シナカッタヲ此議場ニ提出ニナル
ハ其御精神ハ我々モ甚ダ御同感デアリマスガ其第十三條ノ場合デ、渡君ノ仰
セラル、ノハ山師ヲ防クト云フガ一番ノ御趣意ノヤウデアリマスガ是デ果シ
テ山師ガ防ガレルヤ否ヤト云フガ私ノ心配デアリマス、今渡君ノ言ハル、所
謂山師ガ日本ニ來テ日本ノ國籍ヲ得テサウシテ日本人デアノ一攫千金ト云フ
諸君ヤウト云フ者ガアッタトスレバ妻ヲ自分ノ本國ニ置イテサウシテ其者
ハ日本ニ籍ヲ置クハ何條不都合ハアルマイト私ハ考ヘル、是ガ來ルコトヲ拒
ムナラバ拒ンデ宜シイ、妻ハ共ニ本國ニ籍ヲ取得シナケレバナラヌト云フト
歐羅巴ノ真中ニ妻ヲ置イテ日本ノ何某ノ妻トシタナラバ渡君ノ云フ所ノ山師
ガ來ルコトヲ防ギ得ルヤ否ヤト云フコトガ私ノ不審デアリマス、如何デゴザ
イマセウカ一人デ來テ日本人トナリ、自分ノ妻ハ本國ニ置イテ日本人タル自
分ノ妻デ日本ノ國籍ヲ保タセテ歐羅巴ニ置キ得ルデアラウカ、サウスレバ渡君
ノ所謂山師ト云フモノハ此修正デハ防ギ得ラヌコトニナリハセヌカト思フ
ノデアリマス、尙ホ御說明ヲ承リタウゴザイマス

○渡正元君 御答致シマス、本員ガ先刻一例ヲ舉ゲテ碩學大家ガ來ルカ、之
ニ反スル……

○子爵曾我祐準君 ツレハ異論ハナイト述フ

之ニ反スル山師ガ來ルカ、斯ウ云フコトヲ申シタ、本員ガ此十三條ヲ斯ノ如ク
修正スレバ山師ガ悉ク防ゲルト云フコトハ斷言致サナイ、サウ云フコトハ申
サナイ、唯夫婦共ニアラザレバ入籍スルコトガ出來ヌト斯ウ重キコトニシタ
ナラバ山師ノ如キ者ガ屢々輾ク出入スルコトガ容易ニ出來難イデアラウ……
○子爵曾我祐準君 其點デアアル、出來易クハナイカ……ト述フ
ト云フコトヲ申シマシタ、此改正ヲ以テ……修正ヲ以テ山師ハ一切入ルベ

カラズト云フコトノ實效ガ舉ルト云フコトハ斷言致サナイ、幾ラカ是デ防ゲルデアラウ……

○子爵曾我祐準君「其幾ラカ防ゲルデアラウト云フ點ガチットモ分ラヌト思フ」ト述フ

本員ガ見ル所ハ防ゲルデアラウト斯ウ思フ、

○子爵曾我祐準君「其理由ハ……」ト述フ

ツレヲ曾我子爵ハ防ゲナイ、斯ウ云フ御見解デアアル、是ハ御互ニ見解ヲ異ニスルノデ、本員ハ夫婦共ニ入籍シ夫婦共ニ財產ヲ擔フテ來ル如キ者ハ容易ニ輕卒ニ出入スルコトハナカラウ又ハ無賴者、山師ノ如キ者ハ來ナイデアラウ……

○子爵曾我祐準君「ツレハ宜シイ」ト述フ

ツレデ一人ノ入籍ヲ許ストキハ左様ナ山師ノ如キ者、無賴者ノ如キハ來ルコトガ多キニ居ルカモ知レナイ、ツレ等ヲ慮レバ先ツ夫婦同一ト云フコトニシナケレバナラヌト云フ理由ガアルト云フコトヲ述ベマシタノデアリマス、ツレデ御了解ニナリマシタラウカ

○子爵曾我祐準君「了解致シマセヌ、ドウモ山師ヲ幾分カ防ゲルト云フ點ガ私ニ分ラナイ、渡君ガ言ハル、所謂山師ガ己一人日本ニ來テ日本ノ國籍ヲ得テ金儲ヲシヤウト云フ者ハ其妻ヲ連レテ來ナイデモ日本ニハ自分一人デ來テサウシテ其妻ハ日本人タル自分ノ妻トシテ本國ニ置クコトガ出來ルカラ此山師ヲ防グト云フコトニハ何モナラナイ、女房ヲ……其妻ヲ一緒ニ日本人ニスルモヒモチットモ構ハヌ、病氣トカ何トカ云フ名義ヲ附ケテ自分ト同ジク何處國何町何番地何ノ某トシテサウシテ妻ハ本國ニ居ル、斯ウシテ置イタナラバ決シテ一ニアナタノ修正ノタメニ防ギ得ルト云フコトハ言ヒ能ハヌ、山師ナラバ私ノ妻モ一緒ニ來マスガ病氣デアアルカラ來年ハ病氣ガ直ッタ來マスト吹聴シタラチットモ之ヲ防ギ能ハヌ、ツレ故ニ御精神ハ贊成致シマスガアナタノ期スル所ハ期シ能フヤト云フ御質問デアリマス

○渡正元君「ツレハ御質問デアリマス」ト述フ

然シバ答辯致シマス

○子爵曾我祐準君「質問デアリマス」ト述フ

唯今本員ガ權利ヲ得テ答辯ヲ致スノデアリマス、本員ガ意見ハ前ニ申シタ通之ヲ以テ原則トナシ、之ヲ以テ山師様ノ者モ幾部分防ゲルデアラウ、斯ウ云フ見込ヲ以テ修正ヲ提出致シタノデアリマス、而シテ曾我子爵ノ御見解ハ之ヲ以テ山師ヲ防グニ足ラヌ、是デハ防ゲナイ斯ウ云フ御見解、即チ本員ト曾我子爵ト其見解ヲ異ニスル、其御見解ノ異ンテ居ル點ヲ御質問ニナラテ居ル少シ質問ノ區域ヲ脱シテ居ルヤウニ考ヘマス……

○子爵曾我祐準君「見解ガ違ッテ居ルト云フコトナラバ問ヒマセヌ」ト述フ

是ハ曾我子爵ニ於テ反對ノ御意見ヲ御述ベニナッタ宜カラウト思ヒマス

○子爵谷干城君「少シドウモ委員ノ粗漏ノヤウデアリマス」ト據ロナク一ツ辯ジテ置カナケレバナラヌコトガゴザイマスガ宜シウゴザイマス

○議長（公爵近衛篤磨君）「宜シウゴザイマス

○子爵谷干城君「渡君ハ未ダ……」

○渡正元君「演壇ニ御登リニナルノデスカ

○子爵谷干城君「辯ジテ置カナケレバナラヌ……」

○渡正元君「諸君ニ申上ゲマス、本員ノ提出案ニ附イテ別ニ最早御質問ハゴザイマセヌカ……」

○議長（公爵近衛篤磨君）「谷子爵ニ發言ヲ許シマシタカラ……

○子爵曾我祐準君「質問ハアリマスガサキニ……」ト述フ

○子爵曾我祐準君「質問ハドウゾ後デ……」

○子爵谷干城君「本員ハ兩度マデ委員ニ選バレタモノデアリマス」ト云フモ是ハ已ミヲ得ズ一ツ辯解ヲ致シテ置キマセヌト餘リ粗漏ノヤウニ今ノ渡君ノ御演說デハ聞エル、決シテ渡君ノ言ハル、ヤウナ御心配ハアルマイト思フ、デ抑、此渡君ハ頻ニ此夫婦合體デナクテハ危險ト云フコトヲ言ハレル、或ハ山師ガ一攫千金ト云フコトヲ言ハレマシタガ、能ク此順序ヲ逐フテ全編ヲ御覽ニナラバ渡君ノ御心配ノコトハ自ラ消滅シテ理由ガナイヤウニナラウト思フ、ナゼカト申スト第七條ヲ御覽ニナレバ第十七條ニ「左ノ條件ヲ具備シタル外國人ハ內務大臣ノ許可ヲ得テ歸化ヲ爲スコトヲ得」トアル其七條ノ一項二項三項……三項ノ所ニ「品行端正ナルコト」トアル、ツレデ外國人ニ歸化ヲ許スニ致シテモ容易ニ唯何デモ來イト引受ケル譯ニハ行カナイ、ツレデ歸化ヲ許ス日ニハ眞ニ日本ニ來テ歸化シテ日本ノタメニ計リ且ツハ又終身日本ニ忠義ヲ盡スト云フ見込ノアル者デナケレバ內務大臣ハ許可セヌデア

ル、ツレデ今言フ一攫千金ノ山師杯ガ突然ト來テカラニ歸化ヲ願ヒマス」ト云フ所ガ夫ハ出來ナイ、詰リ許可スル上ニ於キマシテハ十分吟味シテ今ドナダカ知リマセヌガ御引キニモナラヌ……渡君ガ御引キニナラヌ即チばあそな

ど此ノ如キ者ハ誠ニ此人ハ勳章モ御贈リニナラヌ居ルヤウナ人デアリ我國家ニハ法律上容易ナラヌ功績ノアル人デアアル、斯ウ云フヤウナ人ガ若シ萬一歸化セウト云フコトニナラヌトキニハ即チ減多ニハナイケレドモ萬アツトキニハ是ハ一ノ法文デ原則ハ既ニ此第八條ニ掲ゲテアル外國人ノ妻ハ夫ト共ニスルニアラザレバ歸化ヲ許サヌト夫婦一體ノモノト云フ原則ヲ立デ、置イ

テ夫カラシテ萬一其夫タル人ハ實ニ立派ナル人デアアル、併ナガラ妻ガ承諾ヲシナイ、所ガ妻モ情誼アル上ナラバ是ハ必ズ承諾スルデアリマセウケレドモ所謂情ノナイ人……ケレドモ情ノナイ人デモ或ハ宗教上離縁スルコトノ出來ナイヤウナモノモアルノデアリマス、サウ云フヤウナ者ニ夫婦共ニセネバ決シテ之ヲ許サヌト云フコトニ嚴重ニシテ置イタナラバ甚ダ日本ノタメニモ不利且ハ又碩德博學ナル人ヲ我ニ招キ致スコトガ出來ナクナル、是ハ古來ヨリ遠人ヲ來スト云フデ有德ノ人ヲ迎ヘルト云フコトハ是ハ支那流ノ古代ニモアルシ日本ノ古イ所デモ御承知ノ通段々其遠人ヲ招イテカラニ國ノ文明ヲ助ケタコトハ明ナコトデアアル、何ゾ是等ノコトハヒドク齒牙ニ懸ケルニハ足ラナイ、是ハ私モ色々考ヘタ結果デ成ル程原則ハ夫婦ト立テ、置イテ萬已ミヲ得ヌトキニ之ヲ許サヌト結果デ成ル程所ガ甚ダ適當ノコト、自分ハ悔悟シタカラシテソコデ最初ハ渡君ノヤウナ考ニ思ッテ居ッタケレドモ是デ宜シイト

本員杯ハ考ヘタデ委員ノ……前委員ノ際ニ於キマシテハ無論其通ニ決シ、
サウシテ再ビ委員ニ付託セラレタ所ニ於テモ大略今本員ガ申シタヤウナ議論
デ、多數決ヲ請リ之ニ反對ヲ爲サレタノハ渡君ニ立花種恭君ガ御反對デア
タト思フ、其他ハ皆御同意デアツタ、ツレカラシテ今御修正ノ宮内省トス
ルト、畢竟宮内省トスルハ危險デアアルカラ説明ニモ危險ヲ防グタメデア
ラシテハドウシテモ是ハ宮内省ニハ外國人ハ入ラレタト、斯ウ云フ御説明
デアリマスガ是ハ修正説ノ勅任トシタ所十分デアラウ、如何トナレバ宮内
省ノ各局長、各局長ト云フヤウナ所ノ人、大抵此重要ナ所ニ居ル人ハ皆是ハ
日本人デアアル譯デアアル、日本人デアアル人ガ是ガチヤント上ニ局々ニ居ルカ
ラシテ危險ナ者ハ其人ガ是ハ危險トスレバ其人ガ選ブ權モアルカラツレデモウ
其以下ノ者ハ勅任官ニ使ハル、人デアアル、ツレハ十分ニ確ナ者ヲ見テ使フ
デアリマスルカラシテ危險ノコトハアルマイト思フ、ツレデソレモ危險ト
出シタラ御雇ノ者モ矢張危險デアアル、御雇杯ハ構ハヌト云フノハドウ云フ理
窟デアアルカ本員杯ニハ分ラヌ、御雇ノ者モ矢張危險ト云フコトハ仕事ヲス
方カラ言ヘバ同ジデアアル、詰リ勅任官トスレバ先ヅ其人ノ下ニ附イテ働ク者
ハ十分人ヲ見テ進退ヲスルコトガ出來ルノデアリマスカラ勅任以上トナツテ
居リサヘスレバ己ガ勝手ニ働クコトハ出來ナイ譯デアアルカラ勅任官トシテ
結構デアラウ、ツレデ即チ是ハ委員會ノ再ビノ決議ニ於テモ其通ニナツテ先
ヅ是ガ極々譯デアリマス、ツレデ決シテ粗漏ニ吟味シタノデハナイ、殊ニ
本員杯ハ誠ニ此法律ニ不調法デアリマスカラ數度讀返シテサウシテ漸ク分ッ
テ同意ヲシタ譯デアリマスルカラドウカソコヲノ所ハヒドク御疑念ナク御安
心ヲ爲サレテ此委員ノ修正ニ御同意アラントヲ冀望シマス

○岡内重俊君 議長……
午後零時五分休憩

○議長(公爵近衛篤磨君) 暫時休憩ヲ致シマス

午後一時十三分開議

○議長(公爵近衛篤磨君) 報告ヲ致シマス
(河田書記官朗讀)

郡制中改正法律案特別委員會ニ於テ委員長ニ公爵德川家達君、副委員長ニ
伯爵上杉茂憲君當選セラレタリ

本日西村亮吉君富田鐵之助君ヨリ三十七名ノ賛成ヲ以テ日佛新條約書附屬
税目ニ關スル質問書ヲ提出セラレタルニ依リ直ニ政府ニ轉送シタリ

○議長(公爵近衛篤磨君) 是ヨリ午前ニ引續イテ會議ヲ開キマス

○岡内重俊君 議長

○議長(公爵近衛篤磨君) 岡内君ハ何デスカ

○岡内重俊君 修正説ヲ……

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハドウデスカ第十六條ニ行ツタ場合ニナサツタ
方ガ都合ガ宜カラウト思ヒマス

○岡内重俊君 宜シウゴザイマス

○男爵諫早家崇君 本員ハ渡君ノ修正説ニ附イテチヨット質問ヲ試ミタイト
思ヒマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵諫早家崇君 渡君ニ質問致シマスルガ第十六條第五項ノ修正ニ附キマ
シテ特命全權公使ト修正ニナリマシタガ、本員ノ考ヘマスルニハ是ヨリモウ
一層重大ナル特命全權大使ナル官職ガアリマス、今日マデハ成程各國ニ派遣
セラレタル公使中ニ大使ナル者ハナイ様ニ思ハレマスルガ段々國運ノ伸張ニ
伴ヒマシテ將來或ハ大使ヲ派遣セラレル場合ガアラウト思ヒマス、ツレハ加
ヘヌデモ宜シウゴザイマス、チヨット伺ヒマス

○渡正元君 諫早君ニ御答ヲ致シマスルガ特命全權大使ハナゼ掲ゲナイカト
云フ御尋デゴザイマス

○男爵諫早家崇君 ハイ

○渡正元君 特命全權大使若クハ臨時代理ト云フガ如キ官職ハ是ハ常設ノ官
職デアリマセヌ、是ハ事アルニ臨シテ臨時ニ特命セラル、モノデ常設ノ官
ハアリマセヌニ依リテ掲ゲマセヌノデゴザイマス

○男爵諫早家崇君 成ル程常設ニ置カレタル所ハ日本帝國ニハゴザイマセヌ
ガ各國ニハ最早常設ノ大使ト云フモノガ備ツテ居ルト考ヘマス、即チ現ニ
英吉利或ハ獨逸ノ如キ強國ニ至ツテハ特命全權大使ナル者ヲ派遣セラレテ居
ル、常設ニシテ派遣セラレテ居ル、日本モ最前申シマシタ通國運ノ伸張ニ伴
ヒマシテ常設ニ大使ヲ派遣スル場合ガアラウト思ヒマスガ其邊ハ如何デゴザ
イマス

○渡正元君 御質問デゴザイマス

○男爵諫早家崇君 左様デゴザイマス

○渡正元君 御答ヲ致シマス、如何ニモ諫早男爵ノ御言葉ノ如ク外國ニ於テ
ハ往々特命全權大使ト云フ者ハ既ニ派遣セラレテアルト云フコトハ本員モ聞
及ンデ居リマス、ツレハ外國ノコトデアリマシテ帝國ニ於テハ臨時ニ派遣セ
ラレタルコトハアリマスルケレドモ常設ノ官デアリマセヌニ依ッテ將來モ仍
ホ今日ノ如キコトデアルト豫想シテ掲ゲマセヌ

○三田昇馬君 本員モ渡君ニチヨット質問ヲ致シマス……
(三田昇馬君席ニ著キナガラ發言ヲ繼續ス)

此第十三條ヲ御修正ニナリマシタガ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 三田君ニチヨット御注意致シマスガドウカ起立ノ
儘デ御質問ナサルヤウニ……

○三田昇馬君 ハイ、第十三條ヲ修正ニナリマシタノハ是デ分リマスガ第七
條ニ抵觸スルヤウナコトハアリマセヌカ、第七條ニハ「左ノ條件ヲ具備シタ
ル外國人ハ内務大臣ノ許可ヲ得テ歸化ヲ爲スコトヲ得」ト斯ウゴザイマス、
此第一號カラ第五號マデノ所デハ條件ヲ具備シタル外國人ハ歸化ヲ爲スコト
ガ得ラレルガ、此渡君ノ修正デ見マスルト歸化ヲ爲スコトヲ得ナイト、斯ウ
ナリマスルト此七條ハ此儘デモ抵觸スルヤウナコトハナイト云フ御考デゴザ
イマスルカ、夫ヲ……

○渡正元君 三田君ニ御答ヲ致シマス、本員ガ提出シタ第十三條ノ主意ニ依
テ第七條ニ抵觸ハシナイト云フ御尋デゴザイマス

○三田昇馬君 其通

○渡正元君 七條ニ抵觸ハ致シマセヌ、序ニ附加ヘテ申シマスレバ七條ハ日

本ニ歸化スルニ附イテ具備スベキ條件ガ揭ゲテアリマス、本員ガ提出シマシ
タ第十三條ハ勿論其條件ハ具備シテ居ナケレバナラヌデアリマスルケレドモ
一人デハイケナイ、夫婦トモデナケレバイケナイト云フ譯デゴザイマス、抵
觸ハ致サヌ積リデゴザイマス

○議長(公露近衛篤磨君) 大抵議論モ盡キタヤウデアリマスカラ採決ヲシヤ
ウト思ヒマスガ、其前ニチヨット採決ノ仕方ニ附イテ御諮リヲシマス、第八
條カラ第十五條マデ一括ニシテ第十六條ダケハ岡内君カラ修正ガ出ルノデア
リマスカラ、是ハ第八條カラ第十五條マデトハ稍々主意ノ異ツタ箇條デアリ
マスカラ、先ヅ第八條カラ第十五條マデニ附イテ決ヲ採リマス、即チ渡君ノ
修正ハ第八條、第十三條、第十四條デアリマス、此三條ノ含ンデ居ル通りニ
本案ノ問題ニナツテ居ル第八條カラ第十五條マデノ決ヲ採ルコトニ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
最初ニ渡君ノ修正ニ附イテ決ヲ採リマス、第八條ヨリ第十五條マデ渡君ノ修
正ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
起立者 少數

○議長(公露近衛篤磨君) 少數ト認メマス、然ラバ第八條ヨリ第十五條マデ
原案ノ通ト認メテ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

然ラバ原案ニ決シマス、次ニ第十六條ガ殘ッテ居リマス

○子爵板倉勝達君 チヨット質問致シタイ

○議長(公露近衛篤磨君) 十六條ノ質問デスカ

○子爵松倉勝達君 左様デス

○議長(公露近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵板倉勝達君 委員長デモ或ハ又政府委員デモ御答下サレバ宜シイ、此
質問ノ主意ト云フモノハ外デハナイ、此十六條ト云フ如キ特別法ハ外國ニ
ウ云フ法ヲ設ケタ國ガ有ルカ無イカト云フコトヲ伺ヒタイ、日本ダケカ、ソ
レトモ外國ニモアルカ、ソコヲ一ツ伺ヒタイ

〔政府委員寺尾亨君演壇ニ登ル〕

○政府委員(寺尾亨君) 御答ヲ致シマス、十六條ノ歸化人又ハ其他ノ人ノ權
利ノ制限デゴザイマスルガ外國ノ法デモ多少ノ制限ハゴザイマスル、尤モ一
箇國デモ程ノ制限ノアル所ハゴザイマセヌ、國ニ依ッテ此中ノ一ツ若クハ二
ツアル所モアリマス、或ハ全クナイ所モゴザイマス、又此中ニハ官名等ノ全
ク外國ニナイノモゴザイマス、ソレ等ハ權衡上等ヨリ載セマシタコトデゴザ
イマス、何レニ致シマシテモ是程ノ制限ノゴザイマスル國ハ殆ドナイノデゴ
ザイマス

○子爵板倉勝達君 官名等ハドウデス

○政府委員(寺尾亨君) 官名ハ役人ノ名前等ガ違ヒマス、此中ニ載ッテ居ル
ノデ全ク外國ノ立法令ニゴザイマセヌモノデゴザイマス

〔岡内重俊君演壇ニ登ル〕

○岡内重俊君 本案即チ國籍法案第十六條ノ事項ハ憲法第二章ニ等シキ權利
ノ問題デアリマシテ我々立法者ハ此規定ニ附キマシテハ十分ニ注意ヲ要スベ
キコトデアラウト存ジマスル、委員モ再ビ選バレマシテ修正サレテ此ニ提出

ヲサレマシタガ此委員ノ修正ニ附キマシテモ少シク疑ヲ存スル所ガゴザイマ
ス、或ハ第三號ノ如キ宮内勅任官トスレバ宮内ノ親任官ガ脱ケハセヌカ、第
一號中「宮内大臣又ハ内大臣」ノ九字ヲ削除シテ唯宮内勅任官トスレバ宮内大
臣内大臣侍從長ト云フ須要ナル官職ガ此中ニ漏レハセヌカト云フ疑モゴザイ
マス、疑バカリデ無ク歸スル所勅任官デアアルガ、疑ガ起ル、ソレヨリ渡君ノ
修正デアリマスガ宮内官ト云フ三字デハ殆ド汎博ニ失シ將來國ノ進歩ニ伴
レテ或ハ歸化人若クハ歸化人ノ子ニシテ外國ノ文ヲ讀ミ或ハ翻譯ヲ便利ガ
アルトキハ判任官或ハ奏任官ノ下級グラ非ニ用ヒルコトガ出來レバ大イニ宮
内省ノ御利益ニナリハスマイカト云フコトハ實際アリハセヌカ、現ニ憲法發
布式ノ時デアリマスガ露西亞カ獨逸カノ侍從ヲシテ居ル者ヲ雇ハレテ奏任官
ノ待遇ニシテ職務ヲ與ヘタト云フコトガ現ニアリマス、何分宮内官ト云ヘバ
範圍ガ狹過ギテ將來差支ヲ生ジテ不利ナリハセヌカ、又各議員ヨリ疑ノア
ル全權公使ト云フコトデゴザイマスガ是ハ最モ疑ガ多イ、全權公使辨理公使又ハ
代理公使ト云フコトニナレバ忽チ大使ト云フコトガ落チルニ違ヒナイ、是ハ
外國ニ幾ツモ全權大使ト全權公使トハ字モ違ヒ官モ違ヒ職務モ違ヒマセウ、
サウスルト忽チ差支ガ生ジャウカト思ヒマス、是等ノ點ニ附キマシテハ本員
ハ何トカ穩當ナル總テニ差支ナイ便宜ナル且ツ憲法第二章ノ權利ニ背反スル
場合ヲ救済スルニ彼等都合ノ宜イ修正案アリハセヌカト考ヘテ此ニ二箇條
ノ修正ヲ試ニ提出シマス、第十六條第一號委員ガ「宮内大臣又ハ内大臣」ト
云フ九字ヲ削リマシタノハ甚ダ遺憾デゴザイマスガ、先ヅ委員ノ修正ノ通ニ
本員ハ賛成ヲ致シマスル、其代リ更ニ二項ヲ起シマシテ……第一項ハ委員
ノ修正通り「宮内大臣又ハ内大臣」ト云フ九字ヲ削除シテ即チ委員ノ修正
通り、第二項ニ更ニ本員ガ新ニ項ヲ加ヘマス、ドウカ諸君御書取リヲ願ヒマ
ス、第二項ニ「宮内大臣内大臣侍從長其他ノ勅任官ト爲ルコト」斯ウ入レル
ノデゴザイマス、斯ウ挿入ヲ致シタウゴザイマス、其理由ハ大概ノ法律ニハ
國務大臣又ハ宮内大臣内大臣重要ノ職ニ當ル場合ハ官名ガ記シテアルコト、
思ッテ居リマス、其官名ヲ記セズシテ親任官トカ或ハ勅任官トカ云フ文字ノ
中ニ包括セシムルノハ法律上ニ取リテハ不當ト考ヘマス、法律文ハ成ルベ
ク精確ニ成ルベク正式ニ少モ間違ノナイヤウニ記載セヌケレバナラヌト思ヒ
マス、故ニ宮内大臣、内大臣、侍從長此三職ハ宮内省ノ官制ニ於キマシテ宮
内大臣、内大臣、侍從長ハ親任トス、此三官ハ親任ト職員錄ヲ見マシテ侍
從長一人親任ト斯ウゴザイマス、故ニ此三職ハ國務大臣ト共ニ矢張大臣ノ名
稱ヲ掲ゲタウゴザイマス、故ニ唯今ノ修正ヲ提出致シマスル所以デゴザイ
マスル、其他此修正ノ結果デアリマスルガ第二項ノ唯今本員ノ提出シマシタ
修正ガ一項加ハリマスルト自然ノ結果デ「樞密院議長、副議長又ハ顧問官ト
爲ルコト」是ガ第三項ニナリマス、是ハ此通過宜カラウト思ヒマス、次ニ委
員ノ修正ノ「宮内勅任官ト爲ルコト」是ハ削除ヲ致シマス之ヲ先ハ線上デマ
シタ譯ニナル故、「四 陸海軍ノ將官ト爲ルコト」是ハ是デ宜カラウト思ヒマ
ス、或ハ親任官ヲ殊更ニ掲ゲルト云フナラバ何故ニ海陸軍將官ト書カズニ海
陸軍大將……即チ大將ハ親任官デアアルガ故ニ海陸軍大將ト書クガ宜イト云フ
コトモ或ハアリマセウカナレドモ是ハ陸海軍將官デ最モ適當ニシテ慣習ニ
於テモ書キ來ッタ上ニ事實ニモ差支ナシ最モ適シ得タル文章デアラウト思ヒ

マス、「陸海軍將官ト爲ルコト」斯ウゴザイマスレバ親任官ノ大將ハ此中ニ包含シテ差支ナイ、是ハ此儘デ宜シウゴザイマスル、五トナリマシテ「大審院長」云々モ其通デ宜シウゴザイマスル、ソレヨリ第六、外交官ニ關シマシテ第六項ヲ起シマシテ「外國派遣ノ使臣ト爲ルコト」斯ウ云フ文字ヲ加ヘタイ、外國派遣ノ使臣、即チ全權大使、全權公使、辦理公使、代理公使、此四ツヲ含ミマセウ、尙又時トシテ派遣セラル、辦理大臣、是モ之ニ這入ラウト思ヒマス、外國派遣ノ使臣トシマスレバ悉ク包括シテ差支ナイト思ヒマス、ノミナラズ此外國使臣ト云フ文字ハ本員ガ唯今新ニ作出シタ譯デモゴザイマス、數十年間外務省ノ公文ノ上ニ於テ遣外使臣ト云フ名稱ガ……使臣訓令ハト云フ公文書ガアリマス、公文書ノ中ニ使臣訓令ト云フモノガアルサウデゴザイマス、ソレハ遣外使臣ト云フコトガアツテ遣外使臣ハ、天皇陛下ヨリ外國ノ君主及統領ニ當テタル信書ヲ持ッテ居ル特命全權公使、特命辦理公使、代理公使、常任ノ代理公使、及外務卿ヨリ外國ノ外務大臣ヘ當テタル信書ヲ持ッテ居ル臨時代理公使トシマス、數十年來外交官ガ今日マデ用ヒ來ッテ居ル公文ノ事實ヲ其儘掲ゲマシテ各公使ヲ包含シ事實ニ差支モナシ、是デ十六條ノ數項ハ稍々整フト信ジマス、其外陳述ヲ致シタイ事情モアリマス、其外却ッテ枝葉ニ涉リマス、故ニ先ツ大體ヲ陳述致シマシテ諸君ノ御賛成ヲ得タイト思ヒマス、本員ハ豫テ制規ノ二十名ノ贊成ヲ得テ之ヲ記載致シテ議長ヘ差出ス、違ガゴザイマス、故ニ草率ノ間ニ提出致シマシタガ二十名以上ノ贊成ヲ得マセヌケレバ本員ノ修正說ノ議場ノ問題トナリマセヌ、故ニ甚ダ遺憾デゴザイマス、ルガ唯今違ベマシタ理由ノ重要ナル法律デアリマス、故ニ何トカ諸君ノ中デ二十名以上ノ贊成ヲ得テ議場ノ問題トナランコトヲ希望致シマス。

○子爵谷干城君 少シ御尋ネシタイ、今ノ提出者即チ岡内君ノ御修正ト云フモノハ此委員ノ修正ノ文字ガ不足デアル、ソレレ別項ニナサレタト云フ譯デゴザイマス、其ヤウニ聞エル、委員ノ「宮内勅任官ト爲ルコト」ト云フコトモ先刻説明ヲシテ置キマシタ通總テ籠ッテ居ル、宮内大臣、内大臣杯ハ申スマデモナク籠ッデ居ル積リデゴザイマス、夫ハドウモ不明瞭ナト云フ譯デゴザイマス。

(岡内重俊君「左様デゴザイマス」ト述フ)

サウスルト委員ノ修正ノ所ノ意味ニ於テハ決ッテ御不同意ハナイノデスナ

○岡内重俊君 左様デス、唯「宮内大臣又ハ内大臣」ノ九字ヲ削除シテ「宮内勅任官ト爲ルコト」ト掲ゲタダケデハ或ハ親任官タル最重要ナル「宮内大臣、内大臣、侍從長、此宮中三職ガ落チハシナイカト云フ」ト疑ガアルノデ、其理由ハ親任官ハ勅任官ヨリ別ツデアル、イヤ親任官ノ中デアル杯ト云フ隨分一ツノ議論ニナツテ居リマス、是ハ諸官制ニ依ッテ調ベマス、ト矢張勅任官デアリマス、官等表杯ヲ見ルト勅任トシテ其中ニ欄ヲ三ツニ分ケテ親任、一等、二等トナツテ居ル、ケレドモ隨分親任官ハ勅任官ノ上デアル、或ハ勅任官ノ中デアル杯ト云フ感ヲ起スカラ法律ハ成ルタケ感ヲ起サヌヤウニ、縱シ冗長ニ流レテモ宜シイ感ノナイヤウニスルガ宜イカラ殊ニ宮内大臣、内大臣、侍從長ノ如キ要職ハ明記スル方ガ宜カラウト云フノ殊更ニ掲ゲタダノデアリマス。

○子爵谷干城君 ツレガ法律ト云フ方カラハ大變……私共ノ考デハ法律ハ成

ルタケ簡潔ニシテ意ヲ含ムヤウニスルト云フ主意ノ方ガ善イノデ、ソコデ悉クツレヲ列記シ出スト甚ダ煩ハシイ、ソコデ茲ノ所ハモウ小ヲ舉ゲタナラバ大ハ兼ネル譯ニナル、下ヲ舉ゲタナラバ上ハ兼ネル、是ノ分ヲヌヤウナコトハ私ハアルマイト思ヒマス、尤モ之ヲ普通ノ人民ニ分ラシメヤウトシタナラバ最初ノ委員長ノ御斷リヲシタ通委員長ト雖モ分ラヌ、ケレドモ之ヲ法律トスル以上ハ小ヲ舉ゲタナラバ大ハ其中ニ籠ルカラ是デ宜カラウト云フガ委員會ノ修正ノ主意デアル、ツレカラ是ハ是ト御考ヘニナルトシマシテ其次ニ「外國派遣ノ使臣」斯ウ云フ御修正ニナリマス、今マデ此總領事又領事杯ト云フモノハ必要ナモノデアルケレドモ併ナガラ人民ガ十分其土地ニ繁昌シテ居ラヌ一個ノ領事ヲ悉ク派遣スルト云フハ入費モイリシ又實際甚ダ必要ヲ感ジナイ、ツレデ皆其土地ノ名望アリ且ツ日本ヘ好意ヲ表スル者ヲ以テ領事杯ニシテ名譽領事ト稱ヘテ設ケテアル、夫等ノ者モ悉ク御除キニナル御精神デアルカ、ツレカラ又使臣ト單ニ言フテアルト詰リ其副領事マデ皆使臣デアルツレ等モ外國ヘ派遣スル者ハ歸化シタモノハ一人モ使ハヌト云フ御精神カ、ソコラノ所ヲ承ッテ置キタイ。

○岡内重俊君 本員ノ見ル所ハ外國派遣ハ公使以上ヲ申ス積リデアリマス、領事ハ所謂國ヲ代表スルニアラズシテ其國ト我國トノ商業上ニ關スル通信其他ノ場合ガ重ニゴザイマシテ國ヲ代表シテ派遣スベキ公使ノ職務ハ領事ニハゴザイマセヌサウデアリマス、デ本員ノ起草ノ精神ハ領事ハ職ヲ辦理公使以上……代理公使以上……代理公使辦理公使以上ノ特命全權公使追々國ノ進歩ニ伴フテハ英吉利トカ露西亞トカヘ大使ヲ派遣セラレルコトガアリマセウカラ大使又辦理大臣モ派遣セララル、コトガアリマセウ、ツレ故ニ公使以上ノコトヲ申ス積リデアリマス。

○子爵谷干城君 尙ホ同ヒマスガ外國派遣ノ使臣ト云フコトハ辦理公使以上ノモノト云フコトハ確ナコトニナツテ居ルノデアリマス。

○岡内重俊君 確カナ公文ニ附イテ調ベテ致シマシタ、何ニ在ルカト云フト是ハ秘密書類デアリマス、メガ外務省ノ書類デアリマス、二訓令ヲスル場合ニハ其使臣ハ何ヲ指スカト云フト解釋シテ曰ク、天皇陛下ヨリ外國ノ君主等ニ向ッテ派遣スル特命全權大使特命全權公使辦理公使及外務卿ヨリ外國ノ外務ヲ處理スル大臣ニ對シテ大使公使ヨリ信書ヲ差出サセル臨時代理公使又ハ臨時代理公使ヲ交際主任トシテ此中ニ這入ッテ居ルト云フ公文ヲ得マシタ故ニ本員ハ之ニ依ッテ起草致シマシタ。

○子爵谷干城君 サウスルト最初ノ御修正ノ宮内大臣杯ヲ列記スル御精神ナレバ矢張渡君ノ御修正ノ如クニ其名稱ヲ盡ク舉ゲル方ガ最初ノ御論鋒ト符合スルヤウニ思ヒマス、今ノノヤウデハ最初ノ御論鋒ト撞著スルヤウニ聞エマス。

○岡内重俊君 一應御尤デゴザイマス、併ナガラ中ミツイツハ法文ニハ包含シ兼ネルカト思ヒマス、或ハツレヲ書クト臨時派遣セラル、所ノ特命全權大使、特命全權公使、辦理公使、代理公使等餘程長クナリマス、是ハ丁度海陸軍ノ大將少將中將等ノ相當官ヲ海陸軍ノ將官ト云フ字ニ能ク包含シテ居ル、此文義ニ倣ヒマシテ書キマシタノデゴザイマス。

○子爵谷干城君 子爵ト質問ガアリマス、今御述ベニナツタ方ノ修正ノ

國務大臣宮内大臣又ハ内大臣侍從長其他ノ勅任官トナルヤウニ伺ヒマシタガ
サウスルト國務大臣カラ承ケテ來テ居ル其他ノ勅任官ト云ハ國務大臣ハ各
省ニアルカラ其他ノ勅任官ト云フト宮内ニ關シタ勅任官ト云フトハ見エナ
イヤウデ各省ノ勅任官トナルコトモ出來ナイト云フ意味デアリマス

○岡内重俊君 一應御疑ハ御尤、其他ノ勅任官ト云フハ文武官百般ノ勅任
官ヲ包含シテ居ルカト云フコトハ一應ハ御尤ノ疑デアリマスガ是ハ本員ハ狹
ク解釋シテ宜カラウト思ヒマス、其理由ハ此法律ニ記載スル所ガ第十六條本
文ヲ揭ケマシテ「國務大臣」ト項ガ切テアル又改メテ第二項「宮内大臣
内大臣侍從長其他ノ勅任官」ト云フノハ餘リ廣クハゴザイマセヌ、其他ノ宮
内勅任官ヲ意味シテ居ルノデ間違ハナイノデアリマス

○子爵本莊壽巨君 ソンナラ宮内省ノ勅任官デアレバ宮内勅任官トナルコト
ト改正ナサルガ分リ易イト思ヒマス

○岡内重俊君 ナラバ本莊子爵ハ其修正ヲ御出シナスツテ下サイマセ、私ハ
ソレデ宜シイ積リデアリマス

○子爵曾我祐準君 意見ヲ述ベタウゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 曾我子爵ハ岡内案ニ對シテデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 皆ノ案ニ對シテミゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 演壇ニ登ル

○子爵曾我祐準君 本問題ハ大變面倒ニナリマシタ、三ノ修正ガ出テ居リマ
ス、私ハ全ク委員ノ修正案ニ賛成スルモノデアリマス、ソレデ第一ニ先ヅ渡
修正案ニ反對スル理由ヲ述ベマス、渡修正案ハ宮内官吏タルコト、云フト
ガアリマスガ其理由ヲ御説キナサル時分ニ恐ナガラ 聖上ニ昵近トカ若クハ

聖上ニ咫尺シ奉ルト云フトコトガアツテソレ故ニ外國人ハ宮内官吏ニシテハ
惡ルト云フヤウニ承リマシタ且ツ説明サル、ニ引イテ此案ノ參考書ニ在ル
危險ト云フ字杯ヲ頻リニ引用サレマシタ、サリナガラ私ハ危險ト云フ字ハド
ンナモノカ或ハ車駕侵犯ト云フトコトニ諸君ハ御取リナサツテ居ルカト思ヒマ
ス、私ハ毛頭斯ノ如キコトニ危險ヲ置カヌ人間デアリマス、假令外國人ガ宮
内ノ官吏トナツテ昵近スルコトモアリマセウ或ハ咫尺スルコトモアリマセウ

ガ何デ車駕侵犯ノ憂ガアリマセウ私ハ斯ノ如キ憂ハ毛頭ナイト思ヒマス、日
本ガ斯ノ如ク國ヲ立テ、居ル以上ハ或ハ一技術一能アル人ヲ 天皇陛下カ外
國人ヲ咫尺ナサツテ何ノ差支ガアリマセウ、サリナガラ政權ハ自ラ別デアリ
マスカラ宮内省ノ政權上ニ携ハルノハ危險ガアルカモ知レナイカラソレハ避
ケルガ宜シイ、ソレ故ニ委員諸君ノ修正ノ如ク宮内勅任官タルコトヲ禁ジタ
ラソレデ澤山ダト思フノデアリマス、ソレカラ岡内君ノ案ニ附キマシテモ是
ハモウ大概……

○贊成ガナイカラ問題ニハナラヌ「贊成ガナイカラ宜イザヤナイカ」
ト述フル者アリ

贊成ガナクテ問題ニナラヌナラ敢テ言ヒマセヌガ是ハ甚ダ御不十分ナ鹽梅デ
アリマスカラ別ニ述ベマセヌ、ソレカラ渡君ノ案ニ外國ノ公使ガ入ッテ居リマ
シタガ是ハ多少理由ガアルヤウニ思ヒマスガ他ノ是ニ列記シテアルモノトハ
甚ダ性質ノ違フモノデアッテ外國ノ公使杯ニハ別ニ此所ニ制限ヲ置カヌデモ

決シテ差支ナイコト、思ヒマシテ全ク委員ノ修正案ヲ賛成スルモノデアリマ
ス

○岡内重俊君 本員ノ修正ノ提出ニ附キマシテハ、ツイ立案ノ趣意並ニ質問
答辯ガ長クナリマスガ故ニ諸君ヘ二十名以上ノ賛成ヲ得テ議場ノ問題トナラ
ンコトヲ諸君ニ請願ヲ致シマシタガ或ハ事情ガアツタカ少シ……併シ唯今二
十名以上ノ賛成ヲ被ブリマスルナレバ議場ノ問題トナリマス故ニ十六條ハ所
謂憲法第二章ノ權利ト云フモノヲ規定シタコトニ反シテ權利ヲ伸張スルト云
フヤウナコトニナリマシテ重要問題デアリマスカラドウカ二十名以上ノ贊
成ヲ此所デ得マシテ議場ノ問題トナランコトヲ希望致シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 岡内君ニ御尋致シマスガ岡内案ト云フノハ一ガ國
務大臣宮内大臣内大臣侍從長其他勅任官タルコト、ナリ三ト四ハ原案、五モ
原案、六ハ「外國派遣ノ使臣ト爲ルコト」是ダケデ此外ニマダ三ツ殘ッテ居リ
マス、宮中顧問官、帝國議會ノ議員トナリ又選舉スルト云フトガアリマシ
タガ是ハ是ダケデ以テ御廢シニナリマス

○岡内重俊君 是ハ原案ノ通……

○議長(公曾近衛篤磨君) 分リマシタ

○水野遵君 十六條ハ大分ヤカマシウゴザイマスガ私ハ此外外國ヘ派遣サレ
ル公使ト云フモノハ入ルヤ否ヤト云フトコトニ附イテ迷フテ居リマスガ何カ外國
ノ例ガ或ハ他ノモノデ見エマシタカトボシヤリ記憶シテ居リマスガ若モ岡内
サンノ御案或ハ渡サンノ修正案ガ成立テバ政府ノ方デ御困リニデモナリハ致
シマセヌカ、又ハ外國ノ例ハサウデアアルケレドモ我帝國デハ是ハ入用ガナイ、
其儘デ置クノデアリマスカ念ノタメニ政府ノ御見込ヲ伺ッテ置イタラ意見ヲ
定メルニ都合ガ好カラウト思ヒマス、チヨット答辯ヲ煩ハシマス

(政府委員寺尾亨君演壇ニ登ル)

○政府委員(寺尾亨君) 唯今ノ御問ヲチヨット御確メ致シマスガ外國ノ例ダ
ケデアリマス、又ハ政府ノ見込ト云フトコトデゴザイマス

○水野遵君 政府ノ見込デゴザイマス

○政府委員(寺尾亨君) はい、是ハ多少之ニ附キマシテハ從來議論モゴザイ
マシタガ今日ノ所左程必要ハゴザイマスマイガ或ル場合ニ於テ日本ノ便利ノ
タメニ歸化人等ヲ外國派遣ノ公使ニ使フト云フトコトガアリハシナイカ、然ル
ヲ却ッテ之ヲ制限シテ置イタトキニ不便デアラウト云フヤウナコトカラシテ
是ハ載セナイコトニ致シマシタ、特別委員會デハ大分御議論ガアツタヤウデ
ゴザイマスルガソレハ成立チマセヌ位ナコトデゴザイマス、政府ニ於キマシ
テモ入レマセヌ積リデゴザイマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 岡内君ノ案ニハ贊成ガアリマセヌカラ是ハ成立チ
マセヌ、渡君ノ案並ニ委員會ノ修正案此二ツヲ順次ニ採決シマス、先ヅ此渡
君ノ案即チ此十六條中第一號ノ所ヲ「國務大臣又ハ宮内官ト爲ルコト」トシ
第五號「宮中顧問官ト爲ルコト」トアルノヲ削除シテ「全權公使辦理公使又
ハ代理公使ト爲ルコト」トスル此二號ダケガ變リマシテ他ハ原案通りト云フ
修正案デアリマス、之ニ御贊成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(公曾近衛篤磨君) 少數ト認メマス、次ハ委員會ノ修正ニ附イテ決ヲ

決シテ差支ナイコト、思ヒマシテ全ク委員ノ修正案ヲ賛成スルモノデアリマ
ス

○岡内重俊君 本員ノ修正ノ提出ニ附キマシテハ、ツイ立案ノ趣意並ニ質問
答辯ガ長クナリマスガ故ニ諸君ヘ二十名以上ノ賛成ヲ得テ議場ノ問題トナラ
ンコトヲ諸君ニ請願ヲ致シマシタガ或ハ事情ガアツタカ少シ……併シ唯今二
十名以上ノ賛成ヲ被ブリマスルナレバ議場ノ問題トナリマス故ニ十六條ハ所
謂憲法第二章ノ權利ト云フモノヲ規定シタコトニ反シテ權利ヲ伸張スルト云
フヤウナコトニナリマシテ重要問題デアリマスカラドウカ二十名以上ノ贊
成ヲ此所デ得マシテ議場ノ問題トナランコトヲ希望致シマス

○議長(公曾近衛篤磨君) 岡内君ニ御尋致シマスガ岡内案ト云フノハ一ガ國
務大臣宮内大臣内大臣侍從長其他勅任官タルコト、ナリ三ト四ハ原案、五モ
原案、六ハ「外國派遣ノ使臣ト爲ルコト」是ダケデ此外ニマダ三ツ殘ッテ居リ
マス、宮中顧問官、帝國議會ノ議員トナリ又選舉スルト云フトガアリマシ
タガ是ハ是ダケデ以テ御廢シニナリマス

○岡内重俊君 是ハ原案ノ通……

○議長(公曾近衛篤磨君) 分リマシタ

○水野遵君 十六條ハ大分ヤカマシウゴザイマスガ私ハ此外外國ヘ派遣サレ
ル公使ト云フモノハ入ルヤ否ヤト云フトコトニ附イテ迷フテ居リマスガ何カ外國
ノ例ガ或ハ他ノモノデ見エマシタカトボシヤリ記憶シテ居リマスガ若モ岡内
サンノ御案或ハ渡サンノ修正案ガ成立テバ政府ノ方デ御困リニデモナリハ致
シマセヌカ、又ハ外國ノ例ハサウデアアルケレドモ我帝國デハ是ハ入用ガナイ、
其儘デ置クノデアリマスカ念ノタメニ政府ノ御見込ヲ伺ッテ置イタラ意見ヲ
定メルニ都合ガ好カラウト思ヒマス、チヨット答辯ヲ煩ハシマス

(政府委員寺尾亨君演壇ニ登ル)

採リマス委員會ノ修正ハ「國務大臣ト爲ルコト」ガ一號デ三ノ所ハ「宮内勅任官ト爲ルコト」ツレカラ第五號ノ「宮中顧問官ト爲ルコト」ト云フヲ削除スル、之ニ賛成ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵近衛篤磨君) 過半数ト認メマス、委員會ノ修正ニ決シマス

○子爵曾我祐準君 本員ハ北海道鐵道官設會計ニ關スル法律案ノ委員會ヲ開キタウゴザイマス、退場致シマス

○子爵小笠原壽長君 本員モ……

○村田保君 本員ハ是ヨリ資格審査委員會ヘ參リタウゴザイマス

○南郷茂光君 本員モ北海道ノ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ニ第十七條ヨリ二十三條マデヲ問題ニ供シマス

(河田書記官朗讀)

(國籍法案第十七條乃至第二十三條ハ五月二十四日官報號外貴族院議事速記録附錄四三頁ニ載ス)
○議長(公爵近衛篤磨君) 第十七條ヨリ二十三條マデ原案ト同意ト認メテ宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 即チ原案ニ可決致シマス、次ハ二十四條ヨリ二十八條マデ……

(河田書記官朗讀)

(國籍法案第二十四條乃至第二十八條ハ五月二十四日官報號外貴族院議事速記録附錄四三頁ニ載ス)
○議長(公爵近衛篤磨君) 第二十四條ヨリ二十八條マデ御異議ガナクハ原案ニ決シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ是ニテ第二讀會ヲ終リマシタ
○子爵本莊壽正君 議事日程ヲ變更シテ直ニ第三讀會ヲ開カレンコトヲ希望致シマス

○子爵錦織教久君 賛成

○子爵山本實庸君 賛成

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 本莊子爵ノ議事日程ヲ變更シテ第三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナクハ其通ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ第三讀會ニ移リマス、朗讀ハ省略致シマス、別ニ御發議ガナクハ國籍法案第三讀會ハ可決ト認メテ宜シウゴザイマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ可決ニナリマシタ、第二、一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案 政府提出、衆議院送付、第一讀會

(河田書記官朗讀)

一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案

貴族院議事速記録第九號 明治三十一年五月三十一日

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十一年五月二十七日 衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

一圓銀貨幣ノ引換ハ明治三十一年七月三十一日限リトス

(政府委員添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 現在ノ貨幣法第十六條ニ於キマシテ此一圓銀貨幣ニ關スル期限ハ五箇年トナツテ居ルノデゴザイマス、而シテ其規定ノ設ケラレマシタル當時ノ有様ニ依ツテ見マシレバ、ドウシテモ一圓銀貨幣ノ始末ハ五箇年位ハ掛ルデアラウト云フ見込デゴザイマス、左様ニ規定セラレタノデアリマス、當時ノ銀ト金ノ比較ノ見込ハ貨幣法ノ上ニ於テモ明カデアリマス、通又皆様モ御承知アラセラル通金一銀三ニ餘デゴザイマス、此金本位ヲ採用シタル以後非常ニ銀ガ下落ヲ致シマシテ、其後ハ金一銀二・二七、ナゾト云フヤウナル暴落ヲ致シマシタルメニ長ク掛ラナケレバ日本ニ歸ラナイト思ヒマシタ所ノ一圓銀ハ非常ノ速力ヲ以テ我國ニ交換ヲ求ムルメニ流込ミマシタルデアリマシテ、當時貨幣法制定ノ時ニ豫測致シマシタル八百萬圓餘ノ金額ハ交換濟トナツタノデゴザイマス、ソレデ最早此五箇年ノ期限ヲ存續致シマスルノ必要ハ事實ニ於テナイト云フ斷定ヲ下シテ差支ナイノデゴザイマス、成程マダ巨額ノ圓銀ハ海外ニ遺ツテハ居リマスルケレドモ、是ハ中間ニブラリツテ唯遊ンデ居ルト云フモノニアラズシテ皆海峽地方支那地方ニ於テ或ハ鑄造サレ、或ハ實際市場ノ日々ノ用ヲ成シテ居ルモノデゴザイマス、故ニ此上巨額ノモノハ或ハ歸ヘルコトハナカラウカト云フ見込デゴザイマス、故ニ此五箇年ノ期限ヲ空ニ明ケテ待ツテ居ルト云フ實際ノ必要ヲ見マセヌデアリマス、且ツ又今後銀ノ下落ガ一層甚シクデモナリマスレバ意外ノ事變ガ生ゼヌニモ限ラヌト云フヤウナル憂ガアルバカリデ五箇年トシテ置クノハ少モ必要モナケラネバ利益モナイデアリマス、殊ニ憂フベキハ隨分最早其遊ンデ居リマシタル圓銀ガ少クナツタ加減カシテ近頃ニ至リマシタル所謂飽詰ト稱シマスル眞正ナル圓銀ニ少モ變ラヌ賈造ノモノガ餘程流入スルノ憂ガアルノデゴザイマス、旁、實際ノ必要モナシ又多少願ミナケレバナラヌ所ガアルト信ジマスル故ニ此法案ノ御協賛ヲ願フ譯デアリマス、殊ニ此貨幣本位ノ基礎ハ一日モ速ニ確立、動スベカラザルト云フ事ニ固メテ置カネバ國家ノ財政經濟ノ上ニ非常ニ憂フベキ結果ヲ生ゼントモ計ラレマセヌ、故ニ何卒速ニ御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ祈リマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクハ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審査ヲ付託スル特別委員ノ選舉……選舉ニ取掛リマス

○子爵林友幸君 是モ例ニ依ツテ議長ニ御委任ヲ致シタウゴザイマス

○男爵玉松眞幸君 賛成

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクハ其通ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

國籍法案 第二讀會ノ續 第三讀會 一圓銀貨幣引換ニ關スル法律案 第一讀會 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○議長(公尊近衛篤磨君) 第四、政府發行紙幣通用廢止ニ關スル法律案、政府提出衆議院送付第一讀會

〔久本書記官朗讀〕

政府發行紙幣通用廢止ニ關スル法律案
右政府提出衆議院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十一年五月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公尊近衛篤磨君

政府發行ノ紙幣ハ明治三十一年十二月三十一日限り其ノ通用ヲ廢止ス

〔政府委員添田壽一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(添田壽一君) 此政府發行ノ紙幣ハ漸次償却ノ方針ヲ取來リマシテ今日ニ至リマシテハ、其餘ス所僅ニ七百萬圓臺デゴザイマス、然ルニ御承知アラセラレマス通、此紙幣ノ中ニハ隨分小サナモノモゴザイマシテ又隨分紙質ナドモ惡ルウゴザイマスルタメニ餘程汚染損傷ノ高モ少カラヌコト、思ヒマスルノデ成ルベク早く此紙幣ヲ整理統一スルト云フ必要ヲ認メマス、即チ斯ノ如キ汚染損傷シ易キモノガ長ク存在致シテ居ルト云フコトハ人民ノ利益デモゴザイマセヌ故ニ成ルベク早く之ガ通用ヲ禁止致シマシテ紙幣ノ整理統一ヲ計リタイト云フ次第デゴザイマスルガ故ニ是レ亦何卒御協賛アラントヲ祈リマス

○子爵本莊壽巨君 是モ……

○議長(公尊近衛篤磨君) チョット御待チ下サイ、併シ御質問デモアリマスレバ……

○子爵本莊壽巨君 質問デハゴザイマセヌ

○議長(公尊近衛篤磨君) 御發議ガナケレバ次ノ日程ニ移リマス

○子爵本莊壽巨君 是モ前同様委員ハ議長ニ於テ指名セラレンコトヲ……

○小原重哉君 贊成

○議長(公尊近衛篤磨君) 此委員ヲ議長委託ニスルニ御異議ガナクバ共通ニ取計ラヒマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 唯今衆議院ヨリ左ノ通牒ヲ得マシタ

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十二條ニ依リ及送付候也

明治三十一年五月三十一日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公尊近衛篤磨君

此ノ如キ通牒ヲ得マシタツレト同時ニ政府ヨリ

明治三十一年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)ハ緊急事件トシテ議決相成度此段及請求候也

明治三十一年五月三十一日

貴族院議長公尊近衛篤磨君

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

是ハ伊勢ノ大廟ニ火災ガアリマシタニ就キマシテ修繕ノ追加豫算デアリマス、緊急事件トシテ議決ノ要求ガアリマシタカラ直ニ議事日程ヲ變更シテ是デ議シテハ如何デアラウカト思ヒマス

〔異議ナシト呼フ者多シ〕

○議長(公尊近衛篤磨君) 然ラバ右ノ豫算會議ニ移リマス朗讀ヲ致サセマス

〔河田書記官朗讀〕

豫算

明治三十一年度歳出追加額ヲ六千八百八拾圓ト定ム其款項ハ別冊歳出豫算ニ據ルヘシ

歳出臨時部

內務省所管

第五款 造神宮使廳 金六千八百八拾圓

第七項 臨時假御造營費 金六千八百八拾圓

〔國務大臣子爵芳川顯正君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵芳川顯正君) 諸君、本月二十三日ノ午前ニ於テ我々四千萬臣民ノ實ニ恐懼ニ堪ヘマセヌ事件ノ出來致シマシタ次第デゴザイマス、圖ラズモ神宮參集所ノ雜屋ヨリ火ヲ失シタメニ行在所支廳參集所ヘモ延燒致シマシタ、其時ニ當リ西北ノ風ガ殊ニ烈シウゴザイマシテ其火焰ハ棚引キマシテ大廟ノ御屋根ノ方ヘ飛火ガ致シマシテ終ニ異多クモ大廟ノ御屋根ヲ燒キマスル次第ニナリマシタノデゴザイマス、此時ニ當リマシテ當局ノ者警察官消防夫等ハ非常ニ盡力致シマシテ一旦其火焰ハ消シマシタノデアリマス、一同ツレニテ安心ヲ致シテ居リマシタガ其時カラ三十分モ經過致シマスルト思フ時分ニ當リマシテ再ビ御屋根ニ火ガ發シマシタノデアリマス、其時ニ當リマシテ實ニ御正體危險千萬ナリト心配致シマシテ御動座ノ準備ニ取掛リマシタ 御正體及兩相殿ノ御正體共ニ風日祈宮ハ別宮ニイタシマシテ極テマシタノデゴザイマス、然リマスルニ此風日祈宮ハ別宮ニイタシマシテ極テ狹隘ナル御場所デゴザイマス、長ク此處ニ御同居アラセラレマスルニ就キマシテハ如何ニモ恐懼ニ堪ヘマセヌ次第デゴザイマス、依テ古例ニ依リマシテ黒木ノ御假殿ヲシツラヘ、之ヘ御遷座ヲ申上ゲ奉ラナケレバナラヌ次第ト思ヒマスルノデゴザイマス、加フルニ此六月十五日ニ於キマシテ御月次祭ガゴザイマス、然ルニ黒木ノ御假殿ヲシツラヘマシテツレマデニ此方ヘ御遷座ヲ申上ゲナケレバナラヌ次第デアリマスカラ緊急トシテ此案ヲ提出致サレマシタノデゴザイマス、願ハクバ委員會ヘ付託ノ手續ヲ省略致サレ即決ヲ希ヒタイノデゴザイマス、終リニ臨ミマシテ尙ホ一言申殘シ置キマス、唯今請求致シマスル豫算ハ黒木ノ御假殿デゴザイマス、就キマシテ御本殿ハ御屋根ニ燒損ヲ生シマシタ、又御動座ニナリマシタ後此消防ヲ致シマスルタメニ或ハ水ヲ注キ御壁等ニ汚レマシタ所モゴザイマス、是レ亦古例ニ依リマシテ臨時ノ御造營ヲ申上ゲナケレバナラヌ次第デゴザイマス、是ハ何レ明日ニモ臨時御造營ノ費額ヲ取調出來次第本院ヘ提出ノ上諸君ノ協賛ヲ請ヒマスル積リテアリマス是レ亦添ヘテ申述置キマス

○田中芳男君 チョット御尋ネ致シタウゴザイマスガ宜シウゴザイマスガ

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

貴族院議長公尊近衛篤磨君

○議長(公衛近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○田中芳男君 唯今内務大臣ヨリ御説明ガゴザイマシタ參集所ト申シマス
ノハ、アレハ御宮ノ近所ニ建ツルト覺エテ居リマスガ其御宮ノ近所ニ立チマ
スル參集所ト云フモノハ昔カラアノヤウナ接近シタ所ニ建テモノデゴザイ
マスカ或ハ近頃アノ邊ヘ移シタ譯デアリマスカ其邊ヲチヨット承リタウゴザ
イマス

(政府委員久米金彌君演壇ニ登ル)

○政府委員(久米金彌君) 御答ヲ致シマスルデゴザイマス、舊來カライタシ
マシテ、御宮城内ナラデハ建ルコトハナラヌコトデゴザイマシテ、御宮城内
ニ昔カラアルモノデゴザイマスノデゴザイマス、多少其場所ノ動キマスルコ
トハアリマスケレドモ大體御宮城内ト申ス即チ此御神地内ニ昔カラアルモノ
ト御承知ヲ願ヒマス、併ナガラ此御宮城ナルモノハ當今ハ以前アリマシタ所
ヨリハ餘程廣ガツテ居リマスカラ昔ノ御宮城ト今ノ御宮城トハ多少相違ノア
ルコトダケハ御承知ヲ願ヒマス

○田中芳男君 モウ一度伺ヒマス、左様ナ譯デゴザイマスルト御宮城内ニ參
集所ガ建ツガ當然デゴザイマセウガ併ナガラ神宮司廳ト云フヤウナ大イナル
建物ハ矢張アノ邊ニ建ツモノデゴザイマセウ、サウ致シマスルト今度新規ニ
御造營ニナリマシテモマダ餘程危險ト云フコトハ免レヌヤウナ考デゴザイマ
スガ將來トモ舊ト在ツタ所ヘ神宮司廳ト云フモノモアノ接近ノ土地ヘ依然
ト建テル御積リデスカ或ハ危險ヲ避ケテモウチット遠方ヘ御持出シニナル御
計畫デモアリマスルカ其邊ヲ伺ヒマス

○政府委員(久米金彌君) ソレハ取調中ノコトデゴザイマスガ成ルベク御正
殿ヘ遠ザカリマシタ所ヲ選ミマシテ建ル計畫ヲ致シテ居リマス、御承知ノ通
此度燒ケマシタ建物ハ神宮司廳ト申ス即チ役所ト參集所ト申スノト行在所ト
申スノト重ナルモノハ此三ツデアリマスルガ、其中ニハ神社ニ御奉仕ノ上カ
ラ致シマシテドウ致シマシテモ御正殿近間デナケレバナラヌモノ或ハ或場所
デナケレバナラヌモノモアリマスカラソレバエラク取離シテ拵ヘマスル
御保護ノ上ニ於キマシテ不便ガゴザイマスカラ其不便ヲ見ヌ限ハ成ルベク遠
ケル計畫ニ致シテ居リマス

○議長(公衛近衛篤磨君) 本案ニ就イテハ別ニ御發議モナカラウト存ジマス
カラ採決ヲ致シマス……少シ順序ヲ誤リマシタ、議院法第二十八條ニ依リマ
シテ政府ヨリ委員ノ審査ヲ省略シテ吳レト云フ要求ガアツタノデアリマス、
之ニ就イテ決ヲ採リマス

(「異議ナシ」ト呼フ者多シ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 御異議ハアリマセヌカ、然ラバ直ニ之ニ就イテ採
決ヲ致シマス、本案全部ニ就イテ決ヲ採リマス、本案ヲ可トスル諸君ノ起立ヲ
請ヒマス

起立者 總起立

○議長(公衛近衛篤磨君) 全會一致ト認メマス、第六、特別輸出港輸出物品
指定ニ關スル法律案政府提出衆議院送付第一讀會

(河田書記官朗讀)

特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案

貴族院議事速記第九號

明治三十一年五月三十一日

特別輸出港輸出物品指定ニ關スル法律案 第一讀會

右政府提出衆議院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
明治三十一年五月二十七日 衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公衛近衛篤磨君

第一條 米、麥、麥粉、石炭、硫黃ノ外主務大臣ハ物品ノ種類ヲ指定シ特別
輸出港ヨリ其ノ輸出ヲ認可スルコトヲ得

第二條 前條ノ輸出ニ關シテハ特別輸出港規則ヲ適用ス

附則

第三條 此ノ法律ハ明治三十一年七月一日ヨリ施行ス

(政府委員男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル)

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 唯今朗讀ニナリマシタル特別輸出港輸出物
品云々ノ法案デアリマスガ是ハ御承知ノ通ニ特別輸出港ヨリ輸出致シマス物
品ハ米、麥、麥粉、石炭、硫黃、此五品ニ限ツテアリマシタ所ガ近頃段々色々ナ
ノガ出來ルヤウニナリマシテサウシテドウモ其港カラシテ輸出サシテ吳レト
云フガ餘程殖エマシテゴザイマシテドウモ今日ノ場合、輸出ヲ獎勵スル
云フハ餘程肝要デアラウト云フ所カラ此案ヲ提出シタ譯デアリマシテ誠ニ簡
單ナ案デアリマスルカラシテ最早此上御説明ハ出來マセヌデゴザイマスガ、
ドウゾ速ニ調査ヲ遂ゲラレテ協贊ヲ與ヘラレンコトヲ希望致イタシマス
○議長(公衛近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス右議案ノ審査
ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵林友幸君 此議案ハドウゾ議長ニ委員ノ選定ヲ御委任ヲ……

○小原重哉君 賛成

○議長(公衛近衛篤磨君) 議長委託ニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公衛近衛篤磨君) 集會及政社法改正法律案、衆議院提出第一讀會、
是ハ條文ガ長ウゴザイマスカラ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(河田書記官朗讀)

集會及政社法改正法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十一年五月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公衛近衛篤磨君

集會及政社法

第一條 此ノ法律ニ於テ政談集會ト稱フルハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラ
ス政治ニ關スル事項ヲ講談論議スル爲公衆ヲ會同スルモノヲ謂フ政社ト
稱フルハ何等ノ名義ヲ以テスルニ拘ラス政治ニ關スル事項ヲ目的トシテ
團體ヲ組成スルモノヲ謂フ

第二條 政談集會ニハ發起人ヲ定ムヘシ

政談集會ヲ開カントスルトキハ發起人ヨリ開會二十四時間以前ニ會場所
在地ノ管轄警察官署ニ届出ヘシ

政談集會ノ居出ニハ左ノ事項ヲ記載シ發起人署名捺印スヘシ

一 集會ノ場所

二 集會ノ年月日時

三 發起人ノ氏名住所

前項ノ居出アリタルトキハ警察官署ハ直ニ其ノ領收證ヲ交付スヘシ
居出ニ記載シタル時刻ヨリ三時間ヲ過キテ開會セス若ハ三時間以上中斷
スルトキハ居出ノ效ヲ失フモノトス

法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ爲開ク所ノ集會ハ投票ノ日
ヨリ前五十日間ハ第二項ノ居出ヲ要セス

第三條 外屋ニ於テ公衆ヲ會同シ若ハ多衆運動セントスルトキハ發起人ヨ
リ二十四時間以前ニ會合スヘキ場所年月日時及其ノ通過スヘキ線路ヲ
管轄警察官署ニ居出テ其ノ領收證ヲ受クヘシ但祭葬講社學生生徒ノ體
育運動其ノ他慣例ノ許ス所ニ係ルモノハ此ノ限ニ在ラス

屋外ニ於テ政談集會ヲ開キ又ハ政治ニ關ル意思ヲ表スルノ目的ヲ以テ公
衆ヲ會同スルハ自由ノ交通ヲ遮斷シタル地域内ニ限ルモノトス

警察官署ハ安寧秩序ニ妨害アリト認ムル時ハ何等ノ場合ニ拘ラス屋外ノ
集會又ハ多衆運動ヲ禁止スルコトヲ得

第四條 左ニ掲クル者ハ政談集會ノ發起人タルコトヲ得ス

一 日本臣民ニ非サル者

二 公權剝奪又ハ停止中ノ者

第五條 左ニ掲クル者ハ政談集會ニ會同シ若ハ其ノ發起人タルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備ノ陸海軍人

二 警察官

三 官立公立私立學校ノ教員學生生徒

四 未成年者

法律ヲ以テ組織シタル議會ノ議員選舉準備ノ爲ニ開ク所ノ集會ハ投票ノ
日ヨリ前五十日間ハ本條ノ限ニ在ラス

第六條 政談集會ニ於テハ日本臣民ニ非サル者ヲシテ講談論議者タラシム
ルコトヲ得ス

第七條 警察官署ハ制服ヲ著シタル警察官ヲ派遣シ政談集會ニ臨監セシム
ルコトヲ得

發起人ハ臨監警察官ニ其ノ求ムル所ノ席ヲ供シ且集會ニ關スル事項ニ付
尋問アルトキハ之ニ答フヘシ

第八條 集會及運動ニハ武器又ハ兇器ヲ攜帶シテ會同スルコトヲ得ス但制
規ニ依リ武器ヲ攜帶スル者ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 集會ニ於テ罪犯ヲ曲庇シ又ハ刑律ニ觸レタル者若ハ刑事裁判中ノ
者ヲ救護シ又ハ賞恤シ又ハ犯罪ヲ教唆スルノ談議ヲ爲スコトヲ得ス

第十條 會場ニ於テ故ヲ喧擾ヲ爲シ又ハ狂暴ニ涉ル者アルトキハ警察官
ハ之ヲ制止シ其ノ命ニ從ハサルトキハ會場外ニ退出セシムルコトヲ得

第十一條 集會ニ於テ講談論議安寧秩序ニ妨害アリト認ムルトキハ警察官
ハ其ノ人ノ講談論議ヲ停止スルコトヲ得

第十二條 警察官ハ左ノ場合ニ於テ集會ノ解散ヲ命スルコトヲ得

一 集會ノ成立此ノ法律ニ背キタルトキ

二 警察官ノ臨監ヲ拒ミ又ハ其ノ求ムル所ノ席ヲ供セス又ハ其ノ尋問ニ
答ヘサルトキ

三 會衆騷擾ニ涉リ警察官之ヲ制止スルモ鎮靜セサルトキ

四 第五條第八條ノ違犯者多數ニシテ警察官ヨリ退場ヲ命スルモ其ノ命
ニ從ハサルトキ

第十三條 第二條第三條ノ居出ヲ爲ササルトキハ發起人ヲ三圓以上三十圓
以下ノ罰金ニ處ス其ノ居出ヲ爲スモ實ヲ以テセサルトキハ罰金同シ

第十四條 第四條第五條ヲ犯シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處
ス

第六條ヲ犯シタル發起人又ハ政談集會ニ會同スルコトヲ得サル者ヲ勸誘
シテ會同セシメタル發起人ハ罰金同シ

第十五條 第八條ヲ犯シタル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ五十圓以
上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十六條 第九條ヲ犯シタル者ハ十一日以上六月以下ノ輕禁錮又ハ八十圓以
上八十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十七條 警察官ヨリ解散ヲ命セラレタル後仍退散セサル者又ハ退出ヲ命
セラレタル後仍退出セサル者ハ十一日以上三月以下ノ輕禁錮又ハ二十圓以
上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十八條 政社ニハ社員名簿ヲ備ヘ及役員ヲ置クヘシ
政社ハ組成後三日以内ニ其ノ役員ヨリ社名、社則、事務所及役員ノ氏名
ヲ其ノ事務所所在地ノ管轄警察官署ニ居出ヘシ其ノ居出ニ變更アリタル
トキ亦同シ

役員ハ其ノ政社ニ關ル事項ニ付警察官ヨリ尋問アルトキハ之ニ答フヘシ

第十九條 政社ニシテ政談集會ヲ開クトキハ第二條ノ手續ヲ爲スヘシ但會
場ヲ豫定シテ定期ニ集會スル者ハ之ヲ初期ニ居出シタルトキハ爾後ノ例會
ハ居出ヲ要セス其ノ居出ノ事項ニ變更アリタルトキハ仍第二條ノ手續ニ
依ルヘシ

第二十條 左ニ掲クル者ハ政社ニ加入スルコトヲ得ス

一 現役及召集中ノ豫備後備陸海軍人

二 警察官

三 官立公立私立學校ノ教員、學生生徒

四 女子

五 未成年者

六 公權剝奪又ハ停止中ノ者

第二十一條 政社ニ於テハ日本臣民ニ非サル者ヲシテ加入セシムルヲ得ス

第二十二條 政社ニシテ支社ヲ設クルトキハ總テ政社ノ規定ニ依ル

第二十三條 結社ニシテ安寧秩序ニ妨害アリト認ムルトキハ內務大臣ハ之
ヲ禁止スルコトヲ得

第二十四條 第十八條ニ違フトキハ其ノ役員ヲ五圓以上五十圓以下ノ罰金
ニ處ス

テセサル役員ハ罰前項ニ同シ

第二十五條 第二十條ニ背キ入社シタル者及入社セシメタル役員ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十六條 第二十三條ノ禁止ノ命令ニ從ハスシテ仍結社ノ實アル者ハ一月以上六月以下ノ輕禁錮又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二十七條 此ノ法律ヲ犯シタル者ハ刑法ノ自首減輕、再犯加重、數罪俱發ノ例ヲ用井ス

第二十八條 此ノ法律ニ關ル公訴ノ時効ハ六箇月トス

第二十九條 法律命令ニ定ムル所ノ集會ハ此ノ法律ニ依ルノ限ニ在ラス

附則

第三十條 明治二十六年法律第十四號集會及政社法ハ此ノ法律施行ノ日ヨリ廢止ス

○議長(公署近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○子爵本莊壽巨君 前同僚委員ノ選擇ハ議長ニ御一任致シマス

○男爵金子有卿君 贊成

○議長(公署近衛篤磨君) 是モ議長委託ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(公署近衛篤磨君) 第十、市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案、衆議院提出、第一讀會

(河田書記官朗讀)

市制中東京市京都市大阪市ニ於ケル特例廢止法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十一年五月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公署近衛篤磨君

明治二十二年法律第十二號ハ明治三十一年九月三十日限り之ヲ廢止ス

○男爵船越衛君 本案ハ衆議院ノ提出デゴザイマスカラ政府ノ説明ハアルマイト存シマスガ、併シ政府ノ主務ノ者ニ一ツ尋ネタイコトガゴザイマスカラ出席アラシコトヲ……

○議長(公署近衛篤磨君) 唯今政府委員ヲ喚ビニ遣リマシタ

○議長(公署近衛篤磨君) 船越男爵ニ御協議シマス、政府委員ノ出席ガ大分遅ウゴザイマスカ何レハ委員ニ付託スルコトニナリマスカラ御質問ハ其上デナサタラドウデゴザイマス……今喚ビニヤツテ居リマスガ……

○男爵船越衛君 サウデゴザイマスカドウカ質問ヲ致シタイ

○議長(公署近衛篤磨君) 委員付託前ニ質問ニナリタイト云フノデスカ

○男爵船越衛君 此大體ダケ聞キタイ、併シ主務省ニ差支ナラ……

○議長(公署近衛篤磨君) イニ差支ト云フコトハナイガ大分手間取リマスカラチコット御協議致シタノデアリマス

○男爵船越衛君 待ッテ居リマス、ソレデ私ノ質問致シタイノハ此特別市制

廢止案ハ頻年出ル、昨年ハ……

○議長(公署近衛篤磨君) 政府委員ガ參リマシタ

○男爵船越衛君 ソレデハ更ニ政府委員ニ質問シテ宜シウゴザイマスカ

○議長(公署近衛篤磨君) 宜シウゴザイマス

○男爵船越衛君 特別市制廢止案ハ多年衆議院ヨリ法案ガ提出ニナリマシテ本院ヘ回リマシテ本院ニ於テハ特別委員會ニ於テ種々ノ論議ガアル節ニハ主務大臣或ハ次官其他ノ出席ヲ請ヒマシテ其法案ヲ廢止スルニ就イテハ必要ノ有無或ハ又別ニ主務省ニ於テ法案ガアルヤ否ヤヲ尋ネマシタ所ガ是マデハ内務省ニ於テハ此特例ヲ廢止スル以上ハ別ニ適當ノ法案ヲ立テ、出ス、一昨々年デゴザイマシタガ矢張法案ガ出マシテ私モ特別委員ニナリマシテ其節ヲ内務大臣ガ出席サレマシテ既ニ内務省デ法案ヲ調査中デアラカラ成ルベキ其調製ヲ待ッテ貰ヒタイト云フコトデ此特別市制ヲ廢止スルニ就イテハ餘程彼是關聯スルコトモ少ナカラヌ、就イテハ又變換スルト云フコトノナイヤウニ適當ノ法ヲ置キタイト云フ、斯ウ云フコトデ遂ニ其議ヲ容レテ本議場デハ決議ニナリマセヌ、又聞ク所ガ昨年内閣ニ於テモ餘程此特別市制ヲ廢止スルニ就イテハ考究ガアツテ更ニ宜シク法案モ起草中デアルト云フコトヲ承テ居ル、ガ既ニ先年ノ内務大臣今日ノ内務大臣デゴザイマスガ其別ニ起草ノ適當ノ法案ハ今日御出シナサラヌ考デアラカ、又縱シ御出シナサヌモ今日ハ出サヌガ暮マデニハ出ス、斯ウ云フコト、或ハ出スコトモ出來ヌ、到底廢止ス、此案ガ一番宜シイト云フコトノ内務省ノミナラズ内閣御一定ノ方針ヲ承リタイ

(政府委員松岡康毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(松岡康毅君) 御答ヲ致シマス、此特別市制ガ廢止スルヤ否ヤノコトニ關シテハ長イ歴史ノアルコトデゴザイマシテ即チ船越君ノ今御述べノ通ノ次第デゴザイマシタ、私杯モ能ク覺エテ居リマスルガ何分此百万以上ノ大都府ノ市民ヲ他ノ諸縣普通ノ市ト同一ノ法律ノ下ニ治メルト云フコトハ頗ルムヅカシカラウト云フ懸念ガゴザイマシテ、サリナガラ此特別市制ト申スモノガ完全ナモノカト申セバ是ハ亦多少不完全ヲ免レヌト云フコトモ政府ガ見テ居リマシタシ、又此議場ノ諸君モ疾クヨリ御承知ノコトデゴザイマス、ソコデ最初ニハ議員諸君ノ方カラ確カ府制ト申スカ、サウ云フ修正案モ出マシタ、又政府ノ方ヨリモ都制ト云フモノモ提出ヲシタコトモゴザイマス、是レ亦修正案ト申シナガラ一向完全ノモノニナリマセズシテ遂ニ成立ツ所マデ運ビマセヌデシタ、ソレカラ今ノ御質問中ニゴザイマシタ通ニ芳川臨時内務大臣ガ政府モ取調中デアラカラ追テ出スデアラウト云フコトヲ委員會デ申シタコトモ其通ニ相違ナイコトデアリマス、然ルニ其取調ヲシテ出スト云フコトノ時機ニ到來致シマセヌ中ニ内閣ガ更迭ニナリマシタ、其後ハ唯今ノ政府ノシタノデハゴザイマセヌガ前内閣ノ時ニ丁度衆議院ノ方デゴザイマシタラウ一ノ案ガ出マシタヤウニ承知致シマス、併シソレモ通過ヲセズシテ止ミマシタ、唯今ノ政府ニナツテドウスルカト云フコトノ意見ヲ御尋ネデゴザイマスルガ前申上ゲマス通ニ素ヨリ特別市制ハ完全ノモノトハ見マセヌ、ソレ故ニ度々何程カ良イ案ヲ提出シヤウト云フコトヲ試ミマシタケレドモ政府カラ出スノモ議員カラ出スノモ遂ニ十分完全ナリト云フ所ヘ至リ兼ネマス次第デゴ

○ザイマス、デ唯今ニ於キマシテモ更ニ善良ナル案ヲ作ルト云フ見込ハ最早唯今ノ政府ニハゴザイマセヌ、大抵前々試ミマシタ位ヨリ外改テ此次ノ議會ニ提出スルト申スヤウナコトヲ唯今此處デ御答ヲスル譯ニハ參リマセズ、早ク申セバ格別妙案ハモウアラウトモ思ヒマセヌノデゴザイマス、ソレデ御分リニナリマシタラウカマダ……

○男爵船越衛君 サウスルト最早御研究モ何モナイ、是カラ更ニ起草ヲナサニ御考モ何モナイヤウニ聞エマシタガ……

○政府委員(松岡康毅君) サウ

○柴原和君 私モ少々政府委員ニ質問ヲ致シマス、唯今ノ船越男爵ヘノ御答ニハ最早善良ナル案ハナイカラ棄置クト云フヤウナ御答辯ノヤウニ聞キマシタ、然レバ此案ナルモノハ即チ歴史ノゴザイマスコトハ政府委員自ラモ云ハレ又都制ト云フモノガ出タコトモゴザイマス、然ルニ此案ハ年々衆議院カラ提出ニナリ貴族院ト政府デ之ヲ潰シタ、其潰シタノハドウモマルデ衆議院ヨリ出ル案ハ今日ノ現行法即チ他ノ府縣ニ行レルモノト同様ニナレバ權衡ヲ得ヌト云フノガ主腦デゴザイマシタ、然ルニ此度ハ善良ナル案ガナイカラ棄置クト云フト全ク衆議院ノ此度ノ提出ノ議案ニハ御贊成ニナルモノト考ヘテ宜シトゴザイマス、果シテ然リデゴザイマセウカ、即チ本員杯モ今日ノ場合ニ至リマシテハ已ニ岡部東京府知事ガ參事會員トシテ市會議員其他市參事會ヲ代表シテ即チ全市ノ代表トシテ貴衆兩院ニ向ッテ歎願ガゴザイマス、ソレハ則チ全然特別市制ヲ廢シタイト云フコトデ、斯ノ如ク時勢モ段々進ミマシタニ附イテ內務省ハ即チ主務省ニ於テハ善良ナル案ガナイカラ已ムヲ得ヌカラ今日ノ即チ衆議院ノ提出ノ案ニハ全然贊成セザルヲ得ヌト云フ御主意デゴザイマス、一應確メタウゴザイマス

○政府委員(松岡康毅君) 唯今柴原君ノ御尋ノ所ニ政府ニ別ニ善良ナル見込ガナイカラ最早全然衆議院カラ送付ニナッタ案ニ贊成ヲスルカト云フ御尋デゴザイマス、比較シテ是ヨリ宜シモノガ最早出來ルト云フ見込ハナイ以上ハ已ムヲ得マセズ兩院ヲ通過致シマシタナラバ強ヒテ拒ムコトハ致シマセヌ、併ナガラソレデアノ通ニナルノガ極良イカラ全然贊成ヲスルト云フノトハ少シ意味ガ違ヒマス、兩院ヲ通過スル以上ハ拒ムニ言葉ガナイト云フ意味デゴザイマス

○柴原和君 ソレデハ已ムヲ得ズ贊成ヲスルト云フノデグスナ

○政府委員(松岡康毅君) 已ムヲ得ズマア從フノデゴザイマスナ

○柴原和君 從フノデスナ

○男爵船越衛君 前ノ御演說デハ大變御贊成ノヤウニ私ハ承ツタガ、サウスルト御贊成デハナイノデス、更ニ考ガナイカラソレデ仕様ガナイデ之ニ依ラウト仰ツシヤルノデス

○政府委員(松岡康毅君) サウ

○男爵船越衛君 已ムヲ得ズ不十分デハアルガ……

○政府委員(松岡康毅君) サウデゴザイマス、全然贊成ヲスルカト云フ御尋デアルカラ贊成デハナイ、併シ不同意ト云ッテ拒ム程ノ見込モナイノデゴザイマス

○男爵船越衛君 モウ一ツ御尋申シマスガ御考ハナサッタノデゴザイマス、

何ア名案デモ出サウト云フ御考ヲナサッタカドウデゴザイマス

○政府委員(松岡康毅君) 考ヘルコトハ幾ラモ考ヘマシタ、幾年モ考ヘタノデゴザイマス

○伯爵萬里小路通房君 私モ政府委員ニ質問ヲ、即チ大概要領ハ前質問者ガ述ベラレマシタガ到底モウ政府デハ見込ガナイト冒ヲ脱イダノデス、ソレデ拙者ナドノ考デハ實ニ議會始ツテ以來前々同マデハ即チ現內閣ノ諸君ハ總テ必死ニ之ヲ保護サレテ遂ニマア今日マデ活キテ來タ譯デアリマス、又政府委員ノ御方モ……アナタモサウデアリマス、所ガ僅カ一年餘リ立ツ間ニサウ立派ニ弱ライデモ宜カラウト思ヒマス、弱リヤウモ外ニマダ餘程アルダラウト思ヒマス、又聞ク所ニ據リテハ全ク政府ハ此度ノ此案ニハ同意ヲ表サレテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレハサウ云フコトハ間違デアアルノデゴザイマス、唯同意ハ流石ニ出來ナイ、併シモウ力足ラズ據ロナイカラト云フ御話デアリマシタガ併シ此七年間ノ間ニ是マデ害ガアルト思フテ十分ニ政府杯ハ或ハ都制ト云フモノハ何等ノ同意ハソレハ仕方ガアリマス、今日七年間十分維持シテ來タノハ何等ノ維持シテ居ッタノデゴザイマセウカ、其害ハ餘程大ナルモノト思フテ維持シタノデゴザイマセウカ、今日速ニ往生シテ仕舞ヒ一言ニシテ廢メテ仕舞フナラバ七年間害ガアルト思ウタノハソレハソレデ十分補ヘルト云フ政府ハ御考デアリマセウカ、決シテ是デ不都合ハナイト云フコトヲ悟ッタノデゴザイマセウカ、ソコヲ私ハ伺ヒタイ

○政府委員(松岡康毅君) 御答致シマス、御尤ナ御質問デゴザイマス、私ナドモ御一所ニ此前ニ衆議院カラ出テ來ル所ノ案ヲ反對シテ潰シタコトハ能ク覺エテ居リマス、今仰ツシヤル通、又七年ノ間害ガアルトシテ拒ンダモノガ今日其害ガナクナッタカト云フ御尋デゴザイマス、今兩院ヲ通過スル以上ハ已ムヲ得ズ同意ヲスルト云フコトヲ申シマシタ事柄ハ其特別市制ヲ廢スルト云フ……

○伯爵萬里小路通房君 同意ハナスッタノデゴザイマス、據ロナシニ同意ヲスルト云フコトニ政府ノ意ハ極ッタノデゴザイマス

○政府委員(松岡康毅君) 兩院ヲ通過致シマセヌ間ハ同意シタ同意セヌト云フコトハ……

○伯爵萬里小路通房君 同意ヲ表シタト云フコトヲ聞キマシタカラソレハ本當デアルカト云フコトヲ伺ヒマス

○政府委員(松岡康毅君) イヤ同意ヲ表シタコトハゴザイマセヌ、ソレハ愧ニ申上ゲテ置キマス、ソレカラ害ガアルカモ知レマセヌガ之ヲ廢スルコトヲ求ムル所ノ旨趣ト或ハ政府ガ已ムヲ得ズ同意ヲスルニ至ルト云フ所ノ旨趣ト或ハ見ル所ガ違フカモ知レマセヌガ僅カ一年ニ變ツタト云フコトノミデハゴザイマセズ漸々市ノ事業杯ニ數年前ヨリハ増加シテ參リマシタ、種々ノ事業ガ獨リ東京ノミニ限リマセズ大阪京都ニヤキマシテモ其事業ガ唯サマ殖エ、サウシテ其事業ニ國ノ官吏ヲ以テ之ニ充テルト申シテ置イテモ事務ノ殖エルニ從ツテソレニ應ジ切レナイヤウナ事實モ其中ニ幾分アルノデゴザイマス、其外唯拒ムト申シマシテモ口實ナシニ拒ムト云フ譯ニモ參リマセヌ、色々數度案モ議院カラモ政府カラモ出シテヤッテ見マシタガ、ソレヨリ優ル

ト云フ程ノモノヲ遂ニ成立スルコトガ出来ナカッタ次第デアリマス、ソレ故
先刻申上デマシタ通兩院ヲ通過スル以上ハ已ムヲ得ズ之ニ同意スルマデノコ
トデアルト云フダケデアリマス

○男爵渡邊清君 政府委員ガ兩院ヲ通過シタ以上ハ已ムナク其議ニ從ハナケ
レバナラヌト云フコトデアリマス、本員杯ハ從來此特別市制ヲ完全トハ固
ヨリ思ハナイ、ドウナリシテ三都ノ制ハ完全ノモノニシタイ、中ニモ東京杯
ハ完全ノモノニシタイと思ッテ居ルデアリマス、ソレ故ニ先年防イタノモ
本員輩致シタ次第デアリマス、然ルニ兩院ヲ通過シタラバ已ムナク之ニ從ハ
ナケレバナラヌト云フコトハ其從ハレハ場合ニ至ッたらバ即チ之ニ對ス
ルノ方針ト云フモノハ今ヨリ定ッテ居ルデアラウト思フ、ソレニ附イテ承ッ
テ置キタイ、警視廳モ今ノ通又東京府ト云フモノモ今ノ通之ニ市長役場ト云
フモノガ立ッデアラウト思ハレル、然ル所ガ其職務上ノ所デアアル、此所謂區
長ノ扱フ所ノ事務ト云フモノハ相變ラズ東京府デ扱フト云フ御方針デアラウ
ト思ハレマス、然ルニ此警視廳ガ東京府ニ對スル職務ト又市長ニ對スル所
ノ職務ト云フモノハ自然別チガ附カネバナナマイト思ヒマス、尤モ市長ハ百
万以上ノ人口ヲ扱ヒ其生命財產ヲ行政上デ管理保護シテ行カネバナラヌト云
フコトハ申スマデモナイ、又警視廳ト雖モ同様ノ話デアアル、就イテハ全ク市
長ト警察ノ事ト……

○政府委員松岡康毅君「ソレガ御質問デゴザイマセウカ」ト述フ
質問デス、其邊ハドウ云フ區分ニサレテ御扱ヒナサル御見込デアラヤラ外ニ
モ段々行政上ノ事ニ附イテ御尋フシタイコトガアリマスガ免ニ角、警察上ニ
於テドウ云フ御別チヲナサル御積リカソレヲ承リタイ

○政府委員松岡康毅君 御答ヲ致シマスガ警察ノコトハ特別市制デモ普通
市制デモ一向關係ハゴザイマセヌ、ソレダケノ御答デ……

○男爵渡邊清君 關係ノナイト云フノハドウ……
○政府委員松岡康毅君 特別市制ダカラ警察ガドウスル、普通ノ市制ダカ
ラ警察ガドウスルト云フ區別ハゴザイマセヌ

○男爵渡邊清君 然ラバ警視廳ハ何モ關係サレヌデ京都府知事ノミノ職務上
ノ引合デ……
○政府委員松岡康毅君「ソレハ京都府知事デモ東京府知事デモ同一デア
テ警視廳ガサウ云フコトヲ引上ゲルト云フ御説デゴザイマスガ……」

○男爵渡邊清君 人民ノ保護上、行政上ノ事ニ附イテ……
○政府委員松岡康毅君「ソレハ格別、特別市制ト普通市制ト、警察ト知事
トノ關係ト云フコトハ各性質ガ別デゴザイマスカラ其關係ト云フコトハ私
ハ少シ分リ兼ネマス

○男爵渡邊清君 分リ兼ネバ宜イ
○伯爵萬里小路通房君 モウ一遍政府委員ニ伺ッテ置キタイ、斯ク申スト政
府委員ハ御困リデアラウト思ヒマスガドウカ十分ニ伺ヒタイ、今渡邊男爵ニ
御答ニナッタコトニ附イテモ私ガ大ニ考フ起シタコトガアリマスガ總テノ事
業ガ大キクナルト、サウ云フコトカラシテモ已ムヲ得ヌ次第ト云フヤウニ
伺ッテ居リマス、少シ私ノ申上デヤウガ議論ノヤウニ御聽キニナルトイケマ
セヌカラソレダケハ前ニ御斷リヲシテ置キマスガ、何モ事業ガ發達スルセヌ

ト云フコトデ此特別市制ヲ今マデ維持シテ來タカト云フト、尙ホ早シト云
フコトニ止ッテ居ルケレドモ、マア今日ノ内閣ハドウカ知ラヌガ前ノ方針デ
言ッテ見レバ本員ノ考ヘル所デハ唯是ガ尙ホ早シト云フヤウナコトニ止ッ
モノデナイト思ヒマス、ソレニ附イテ伺ヒタイノハ今日通ノ政府ノ御考デハ
尙ホ早シト云フ積リデアッタガ大ニ事業モ盛ニナリ、道路モ運搬モ注意シテ
ア、云フ位ニ大キクナルカラモウ此特別市制ハ廢シテモ然ルベキモノデア
ルト云フ意デアリマスガ、ソコヲモウ一遍伺ヒタイ

○政府委員松岡康毅君 特別市制ヲ廢シテモウ大丈夫ナリト安心スル譯デ
ハゴザイマセヌ、モト特別市制ヲ設ケマシタノハ御承知ノ通當分行フト云フ
マデハゴザイマス、當分ト云フノハ遠近ノ區別モ不明瞭ナコトデゴザイマス
ガ年々衆議院カラ出シ其貴族院ノ方ヲ通過シタナラバ最早致シ方ガ無イト
云フコトハ先刻カラ屢申上ゲタ通ノコトデ特別市制ヲ廢シテ普通ニシテ美
事ニ彌、行クヤ否ヤト云フコトハ私ハ何トモ斷言ハ出來兼ネマスガ併シ何等
カ法文……特例ト云フモノヲ設ケテ廢スルニハ是ガ惡イ、ソレヨリ斯ウスル
ガ宜イト代ルベキダケノモノガ出來マセヌト唯イツマデモ拒ムト云フコトモ
出來マセヌト云フコトデ之ヲ廢シテ最早安心ナリト云フコトデ確ニ同意スル
ト申ス主意デ、アリマセヌ

○伯爵萬里小路通房君 モウ一遍伺ヒタイ、能ク分リマシタ、サウスルト已
ムヲ得ズト云フ御精神デスカ
○政府委員松岡康毅君 左様、安心ダト云フコトハ固ヨリナイノデ……ヤッ
テ見タラ惡イカモ知レマセヌ

(伯爵萬里小路通房君) 宜イカモ知レマセヌ」ト述フ
サウカモ知レマセヌ、ソコハ何トモ斷言ハ出來マセヌ、疑ノ中ニ望ミマセヌ
ガ據ロナイカラヤッテ見ヤウト云フダケデアリマス
○柴原和君 本員ハ少々……
○議長(公曾近衛篤磨君) 議論デハ……
○柴原和君 此事ニ附イテ第二讀會ニ移ッタラ委員……
○議長(公曾近衛篤磨君) 二讀會ニ移ルベキ場合デハアリマセヌ
○柴原和君 之ヲ當局ノ政府委員ニ質問ヲシナイデ速ニ二讀會ニ移ルト云フ
コトヲチョット申シタイノデ……
○議長(公曾近衛篤磨君)「ソレハ能ク分ッテ居リマスガ今ハ二讀會ニ移ルト
云フコトハドウシテモ出來ナイノデス
○柴原和君 イエ二讀會デハアリマセヌ、第二ノ特別委員ニ移ルノデ……二
讀會ハ言葉ノ誤デアリマス、先刻カラ内務次官ノ答辯ヲ聞キマスニ私モ確メ
タ、全然賛成シナイ、已ムヲ得ズ賛成スル、善良ナル案ハチットモナイ、實
ニ不親切千萬答辯ト考ヘマス、善良ナル案ガナケレバ我々ニデモ託シテドウ
カ案出シテ呉レト頼マナケレバナラヌ、ソレモ已ムヲ得ズ……
(政府委員松岡康毅君發言ヲ求ム)
御待チナサイ、發言中デアリマス、已ムヲ得ズ賛成スル、全然ハ賛成ハシナ
イ、何ノコトデス、内務次官ノ發言トハ思ハレヌ、甚ダ不親切ト思ヒマス、
是ハナンボ質問シテモ同ジコト、故ニ本員ハ始ヨリ此案ナルモノハ歴史モア
ル案ナレドモ先刻モ申ス通兩院東京府知事ガ府民ニ代ッテ歎願モサレテ、我

我モ亦最早特別市制ヲ廢シテ宜カラウト思フ、去リナガラ今ノ特別市制ヲ廢シテ其儘デヤルト云フコトハドウデアラウカト斟酌シテ居ル、故ニ内務省ニ考案ガアルカト云フコトヲ尋ネタ、所ガツレハナシ、已ムヲ得ズ餘儀ナク贊成スル、全然ハ贊成セヌ、實ニ斯クノ如キ特別市制ノ大切ノ案ヲ内務次官ハ實ニドウモ不親切極ルト考ヘル、最早質問ニハ及ブマイト考ヘル、次ノ日程ニ移ラレンコトヲ希望致シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 別段ニ御發議ガナクハ柴原君ノ説ヲ容レテ次ノ日程ニ移リマス、第十一、右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○柴原和君 此委員ハ議長ノ指名ニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 本案ハ先刻ヨリ諸君ノ質問モアリマシタ通重大ナ問題デモアリ殊ニ東京府民ニ大ノ關係ヲ持ツコトデアリマシテ斯ノ如キ議案ハ早ク決セラレタ方ガ宜カラウト思ヒマス、ツレ故ニ委員ニハ一週間ニ報告セヨト云フ條件ヲ附ケテ委託セント欲スル動議ヲ提出致シマス

○子爵小笠原壽長君 贊成致シマス

○柴原和君 本員モ贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ノ一週間ト云フノハ委員ニ付託シテカラ一週間デスカ

○子爵曾我祐準君 一週間マデニ報告セヨト云フ……

○議長(公爵近衛篤磨君) 併シチヨット御注意シテ置キマスガ……

○子爵曾我祐準君 今日ヨリ遅クモ七日目マデニ報告セヨト云フコトデアリマス

○子爵堀田正養君 曾我君ニチヨット御注意シマスガ會期ガドウナリマスカ七日デハ會期ガナイト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 一週間デ六日ニナルト思ヒマスガイケマセヌカ……ツレデハ更ニ申シマス、五日間ニ改メマス、約メテ五日間ニ致シマス即チ六月ノ四日マデニ報告スレバ宜シイコトニナリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ノ動議ハ五日間ニ改ツタノデアリマスカ○子爵曾我祐準君 五日間ニシマシタ

○松本鼎君 本員モ曾我君ヲ贊成スルモノデハゴザイマスガマダ委員ガ議長ノ指名トモ何トモ定マリマセヌガ其前ニ極メテ置イデモ宜シウゴザイマスカ

○議長(公爵近衛篤磨君) ツレハドウデモ宜シウゴザイマス

○松本鼎君 ソンナラ曾我君ニ贊成シマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 曾我子爵ノ動議ハ五日間ニ報告スルト云フノデアリマスガツレニ御異議ガナクバ其通ニ致シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

次ニ此委員ノ選舉ヲ議長ニ委託スルト云フ是モ御異議ガナクバサウ致シマス(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

次ハ第十二、市制中追加法律案、衆議院提出、第一讀會、是ハ條文ガ長ウゴザイマスカラ通牒文ノミヲ朗讀致サセマス

(河田書記官朗讀)

市制中追加法律案

右本院提出案及送付候也

明治三十一年五月二十七日

衆議院議長片岡健吉

貴族院議長公爵近衛篤磨君

明治二十一年法律第一號市制中左ノ追加ス

第三條ニ左ノ一項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ從來ノ區ヲ存ス其區ハ財産及營造物ニ關スル事務其他法律命令ニ依リ區ニ屬スル事務ヲ處理スルモノトス

第四條ニ左ノ一項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ニ於ケル區ノ廢置分合若クハ境界變更ヲ要スルトアルトキハ町村制第四條ヲ適用ス

第十四條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區ヲ以テ市會議員ノ選舉區トス

第六十條ニ左ノ二項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ハ市會ノ議決ニ依リ區ニ區收入役ヲ置クコトヲ得

前項區收入役ハ區附屬員中ニ就キ市參事會之ヲ命ス

第七十二條ニ左ノ四項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ニ於テハ區長ハ市長市參事會又ハ市收入役ノ指揮命令ヲ受ケ若クハ委任ニ依リ市ノ公共事務及法律命令ヲ以テ市ニ屬シタル事務ニシテ區内ニ關スルモノヲ管掌ス

前項ノ區長ハ市參事會ノ監督ヲ受ケ區ニ屬スル事務ヲ處理ス

區收入役ハ區ノ收入ヲ受領シ其費用ノ支拂ヲ爲シ其他會計事務ヲ掌ス

區收入役ハ市收入役ノ指揮命令ヲ受ケ若クハ委任ニ依リ區内ニ關スル市收入役ノ事務ヲ管掌ス

第七十四條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ追加ス
東京市、京都市、大阪市ノ市長ハ監督官廳ノ許可ヲ得テ本條ノ事務ヲ區長ニ分掌セシムルコトヲ得

第百三十三條ニ左ノ一項ヲ追加ス

此法律中別段ノ規程アルモノヲ除クノ外東京市、京都市、大阪市ノ區ニ關シ必要ナル一切ノ事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

附則

○議長(公爵近衛篤磨君) 御發議ガナクバ次ノ日程ニ移リマス
此法律ハ明治三十一年十月一日ヨリ施行ス

○男爵船越衛君 質問ガアリマス、此案ハ大分簡條ガ加リマシタガ……收入役杯ガ……(聴取難シ)是ハ自治區ニナル精神デゴザイマス、矢張行政區ノ……(聴取難シ)

(政府委員松岡康毅君演壇ニ登ル)

○政府委員(松岡康毅君) ツイ耳ガ遠ウゴザイマスカラ聽落シマシタカラモウ一遍……

○男爵船越衛君 此案ニハ收入役杯ガ加ッテ居リマスガ是ハ自治區ニナルノデアリマス、矢張行政區ノ儘デアリマス

○政府委員(松岡康毅君) 此附則ノ何デアリマス

○男爵船越衛君 此大體ニ附イテ御尋ネスルノデス、自治區ニナル主意ナシデゴザイマス、矢張行政區ヲ此儘デ置クノデスカ、即チ此收入役杯ガ……

○政府委員(松岡康毅君) 是ハ市制ノ中ニ現在區ト云フモノガアルノデゴザイマス、其區ト云フモノ、スル仕事ヲ普通ノ區ヨリ是ハ少シ其仕事ノ事柄ヲ別段ニ極メタノデゴザイマス、矢張市ノ中ノ一區ト云フノデゴザイマシテ他ノ町村ノ如クニ獨立スル譯デハ固ヨリナインデアリマス

○男爵船越衛君 獨立ニハナラヌガ矢張マ自治ノ……

○政府委員(松岡康毅君) 獨立デハナイト云フノデゴザイマス

○山中幸義君 チョット政府委員ニ御尋致シマス、此案ハ衆議院ノ提出案ノヤウニ見エマスガ之ニ附キマシテ疑義ガ有リマス、レバ政府委員ニ伺ヒマシタラ御説明ガアリマセウカ、唯今船越君ニ御答ニナッテ所ヲ以テ見ルト御答ヘ下サルカト思ハレマスガ如何デゴザイマス

○政府委員(松岡康毅君) 衆議院ノ委員會ノ時分ニ政府ノ委員モ一人出マシテゴザイマスカラ御尋ネニ依ッテ分ルコトハ御答モ致シマス、併シ根元ガ衆議院デ出来マシタモノデゴザイマスカラ御答ノ意味ガ原意ニ違フヤ否ヤモ計ラレマセヌガマア……

○山中幸義君 サウスレバ此案ハ矢張衆議院ノ決議ノ際ニ於テ政府ハ御同意ニナリマシテ此通ナル御考デアリマス

○政府委員(松岡康毅君) 異議ハ申サナイコトニシテ濟ンダノデゴザイマス

○山中幸義君 サウスレバ本院デ可決ニナレバ先刻ノ特別市制廢止案ト同一ニ縱令善クotteモ惡クotteモ仕方ガナイカラ其通ニナサルト云フ譯デアリマス

○政府委員(松岡康毅君) 是ハソソナニ惡イトモ思ヒマセヌ

○山中幸義君 主タルモノガ止メバ是ハ從タルモノデアリマス、其儘棄テテ置ク譯ニ行カヌカラ修正セネバナラヌガ特別市制ノ幾分ヲ殘スト云フコトニナリマス

○政府委員(松岡康毅君) サウ申シテモ宜シウゴザイマセウ、他ノ普通ノ市ニハ無イモノガ三都ノ區ニハ必要ト云フコトガアリマス

○山中幸義君 サウシマスレバ先ヅ政府ハ衆議院デ決議ニナリ尙ホ本院デ決

議ニナレバ善クotteモ惡クotteモ外ニ考ガナイカラソレニ盲從……トハ餘リ甚シウゴザイマセウガ默ッテ泣寐入リニ從フデアリマス

○政府委員(松岡康毅君) ソレ程念ガ入リマセヌデモ此分ハ惡ルイカ宜イトカ云ヘバ引分ケレバ宜カラウト思ヒマス

○山中幸義君 要領ヲ得マセヌカラモウ宜シウゴザイマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 次ノ日程ニ移リマス

○久保田讓君 此委員ハ議長ニ委託シタイ

○議長(公爵近衛篤磨君) マダソレニ移リマセヌ、右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

○久保田讓君 委員ノ選舉ハ議長ニ委託致シタイ、ソレニ附キマシテ一言申加ヘテ置キタイコトガアル先刻以來政府委員ノ御答辯ヲ承ルノニ一トシテ要領ヲ得ナイコトバカリデアル、誰モ要領ヲ得ナイト感ズルデアリマス、先刻

來船越君柴原君其他ノ諸君ヨリ縷々御陳述ニナリマシテゴザイマス、此事ハ長イ間ノ問題デアル、議會初ッテ以來今日マデ續イテ出テ居ル問題デアリマス、其時々政府ハイツモ反對ヲ致サレデアル、其理由ハ此特別市制ヲ決シテ可トスル譯デハナイ、併ナガラ之ヲ廢シタナラバ普通ノ市制即チ僅ニ一万人

人口ヲ有シテ居ル所ニ行レル位ナル普通ノ市制ヲ以テ此大ナル都府即チ釐穀ノ下ニ在ル所ノ首府デアッテ百數十万人ノ人口ヲ有シテ居ル所ノ都府ニ此市制ヲ當嵌メルノハ適當デナイ、ソレ故ニ東京京都府等ノタメニハ即チ特別ナル一ノ制度ヲ設ケテサウシテ此都府ニ當嵌メル所ノ制度ヲ設ケル、ソレマデハド

ウカ特別市制ヲ廢スルコトニ同意シテ貫ッテハ困ルト云フコトヲ始終申述ベラレデアル、ソレハ委員會ニ於テモ本會ニ於テモ即チソコニ出席ニナッテ

居ル松岡君モ述ベラレ、末松君モ述ベラレトモアル、内務大臣モ公然之ヲ申サレタ、私ナドモ前年委員ニ選バレタコトガアッテ其當時ニ内務大臣ノ

野村君カラモ述ベラレタ、然ニ今日松岡君ノ御説ニ依レバ、マルデ前ノ議ハ棄テラレタ大ニ豹變セラレタ説ヲ述ベラレタ、ノミナラズ甚ダ無責任ノコト

ヲ申述ベラレタ私ハ聽取ッテデアリマス、ソレハ此案ガ若シ兩院ヲ通過致シマシタナラバ餘議ナク同意セザルヲ得ヌトカ餘儀ナク同意スルトカ云フ

ヤウナコトデ又夫ニ對シテ此法ガ萬一實際ニ行レルヤウニナッタクニハ其利害ハドウカト云フコトヲ問フタ議員ガアル、ソレニ附イテ、此法ガ行ハレ

テ果シテ利デアルヤ害デアルヤソレモ分ラヌト斯ウ云フコトヲ答ヘラレタハ畢竟政府ハ一モ責任ヲ取ッタ答ハナイ、責任ヲ取ラレナイ、右様ナ次第デア

リマスカラ此特別委員ハ先刻會我君ノ發言モアリマシテ五日間ニ調査シ上ゲルト云フヤウナコトデアリマシタガ政府デハイツモ責任ヲ取ラレヌ案デアリ

マスカラ特別ニ注意セラレテ御調査アランコトヲ冀望シマス

○子爵曾我祐準君 前案ト同一委員ニ付託セラレテ同一期限ニ報告アランコトヲ希望シマス

○松本鼎君 贊成

○議長(公爵近衛篤磨君) 松本君ハ久保田君ニ賛成デスカ、曾我君ニ賛成デスカ

○松本君 曾我子爵ニ賛成

○久保田君 本員モ前ノ委員ニ託スルコトニ賛成デアリマス

○議長(公爵近衛篤磨君) 前同一ノ委員ニ付託ヲシテ同シ期限ニ報告セシムルト云フ曾我子爵ノ發議ニ御異議ハゴザイマセヌカ

(異議ナシト呼フ者多シ)

○議長(公爵近衛篤磨君) 然ラバ本日ノ日程ハ是ニテ終リマシタ是ヨリ尙ホ御報告ヲスルコトガアリマス

(中根書記官長朗讀)

貴族院議員子爵谷干城君外一名提出ニ係ル會計検査院長法律違反ノ上奏ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十一年五月三十一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別紙)

會計検査院長法律違反ノ上奏ニ關スル質問ニ對スル答辯

天皇ニ直隸シ國務大臣ニ對シ特立ノ地位ヲ有スル會計検査院ノ院長カ爲シタル明治三十年三月八日ノ上奏竝ニ之ニ關スル會計検査院ノ決議ニ付テハ國務大臣ハ是非ノ意見ヲ表示スルノ限ニ在ラス

明治三十一年五月三十一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議員子爵谷干城君提出ニ係ル會計検査官ノ退官ニ關スル質問ニ對シ別紙答辯書差進候也

明治三十一年五月三十一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

貴族院議長公爵近衛篤磨殿

(別紙)

會計検査官ノ退官ニ關スル質問ニ對スル答辯書

會計検査院部長安川繁成検査官吉田市十郎持田直澄關宗喜ノ退官ハ會計検査官會議ニ於テ明治二十九年法律第九十一號ニ依リ決定シタルモノナレハ國務大臣ハ其ノ決定ノ當否ニ關シ是非ノ意見ヲ表示スヘキモノニアラス隨テ當時ノ國務大臣カ其決定ヲ執奏シタルニ付テモ今其ノ當否ヲ説明スヘキ限ニ在ラス

明治三十一年五月三十一日

内閣總理大臣侯爵伊藤博文

○議長(公爵近衛篤磨君) 伊藤總理大臣ノ演說ガアリマス

(國務大臣侯爵伊藤博文君演壇ニ登ル)

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 唯今検査院ノ事ニ附イテ本院ノ質問ニ對シマシテ御答ヲ出シテ置キマシタ此事ニ附キマシテハ政府ニ於テモ篤ト熟考ヲ致シテ見マシタ結果デアリマスルガ何分彼ノ検査院ノ位置ト申シマスルハ國務大臣ニ對シテ獨立ノ地位ニ在ルト云フカ如キ官衙デアリマシテ尙ホ他ノ裁判所同様ナ位置デアリマスル故ニ政府ノ指揮監督ヲ受ケルト云フ位置トモ違ヒマスル、故ニ其位置ニ在ル所ノ検査院ノ位置ニ附キマシテハ之ヲ是非スルコトハ甚ダ事實上ニ難イ譯デアリマス、且ツ又當時ノ國務大臣ガ之ニ對シテ處分シタ所ニ附キマシテモ今日ノ政府ニ於テ之ヲ是非スルト云フモ甚ダ穩當ヲ缺イタコト、存ジマスル、此質問ニ對シテハ此ノ如ク唯今報道ニ相成タ通ニ御答ヲ申シテ置キマシタガ政府ニ於テハ之ニ對スルノ將來ノ處置ヲ取ルノ外ハナカラウト考ヘマス、此將來ノ處置ハ即チ立法的作用ニ依ラザルコトヲ得マセヌノデアリマス、検査院及行政裁判所等ノ懲戒法ガ今法律ノ關點ニ相成ッテ居リマス、此法律案ヲ本年冬期ノ議會ニ提出シテ將來ヲ羈束スルト云フ考デゴザイマス、其他ニ何カ然ルベキ方法ガアルカト段々勸考モ致シテ見マシタガ立法上ノ手續ニ依ッテ將來ノコトヲ圖ルノ外ニドウモ道ガアリマセヌノデ唯ダ單純ニ此ノ如ク御答ヲ申シテ置キマシテハ將來ノタメニ矢張種々ナ紛論ヲ醸スヤウナコトガ起リハシナイカト云フノ御懸念モゴザイマセウニ依ッテ一應政府ノ意見ヲ答辯書ニ併テ附帶シテ陳述シテ置キマス

○子爵谷干城君 本員ハ即チ質問書ヲ提出シマシタ一人デアリマスルカ一應確メテ置キタイト思ヒマス、ツレハモウ極ク單簡デアリマスルガ今總理大臣ノ御演說ニ據リマスルト冥々ノ裡ニハ自ラ政府ノ意思モ分ッテ居ルト存ジマスルカラ本員ハモウ敢テ深イ御尋ハ致シマセヌガ今ノ後日ノ矯正ノタメニ法律案ヲ出スト仰シヤイマシタガツレハ今此議會ニ早速御提出ニナリマスカ、ツレヲ能ク確メテ置キタイ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 本年ノ冬ノ時期ニ提出シヤウト考ヘテ居リマスルガ

○子爵谷干城君 ドウカ此議會ニ御出シニナルコトハ出來マセヌカ

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 篤ト取調ベテ見マセウ、今此處ニ於テ御即答ヲ申シ兼ネマス

○子爵谷干城君 成ルベク早く願ヒマス

○柴原和君 總理大臣ニ御尋致シマス唯今御演說ノ中ニ検査院ナルモノハ特立ノモノデアルカラ之ヲ是非スルニ甚ダ難ズルト云フヤウナ御言葉ヲ承リマシタガ本員等ノ考ニハ國務大臣ナルモノハ補弼ノ任ニ在ラレルカラ特立タリト雖モ検査院長始メ不都合ナコトガアレバ御處置ナサルモノト考ヘテ居リマスガツレハナサレヌコトデゴザイマス、此事ヲ一ツ、モウ一箇條ハ答辯ノ限ニアラズト云フヤウニ唯今書記官長ガ讀マレタノヲ伺ヒマシタガ答辯スベキモノガアツテモセラレヌト云フノ御趣意デゴザイマスルカ、又ハ是ハ前内閣ノシタコトデヤニ依ッテ答辯スルノ限ニアラズト云フコトデゴザイマス、一應……

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) 柴原君ノ第一問ニ對シテハ先刻モ陳述致シマシタ通ニ是ニ就イテ政府ガ如何ナル方法ヲ施シ得ルカト云フコトハ其検査院ノ決議ノ是非ニ拘ラズ申スノデアリマスルガ實際政府トシテ執リ得ル手段方者ガ即チ 至尊ト雖モ其法律ノ條件ニ因ルニアラザレハ動サヌト云フノ是ハ御規定デアリマスルニ依ッテ検査院ノ獨立ト云フモノモ矢張其同様に條件ノ譯デアリマスルニ依ッテ是ガ則チ裁判所等ノ憲法ノ大ニ保障ト相成ッテ居ル他ノ行政官ヲ進退スルガ如キノ譯ニ參ラヌノデアリマス、故ニ之ヲ將來ノタメニ不都合ガ起ラヌヤウニト云フコトニナレバ懲戒法ト云フモノヲ設ケラレテ即チ立法ノ手續ニ依ッテシナクチャイカヌト云フ譯デアリマス、ツレカラ第二ノコトニナリマシテハ所謂其難シズルコト云フヤウニ申シタト……

○柴原和君 サウデハナクツレハ前ノ方デアリマス

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) ハ、ア、サウデスカ、ツレカラ第二ノ方ハ……

○柴原和君 答辯ノ限ニアラズト書記官長ガ讀ミマシタガツレハ甚ダ……

○國務大臣(侯爵伊藤博文君) ツレハ斯ウ申シデアリマス、國務大臣ハ政府ノ意見ヲ表示スルノ限ニアラズト申シデアリマス、ツレカラ第二ノ方ノコトニ對シテハ質問書ニハ今其當否ヲ説明スベキ限ニアラズト御答申シテ置キマシタ、其説明スルノ限ニアラズトカ答辯スルノ限ニアラズトカ云フコトヲ無條件ニ申シタノデハナイ、條件附デ左様ニ申シタノデ政府ノ意見ヲ表示スルコト云フコトヲ條件ト致シテ其限ニアラズト申シマシタ、ツレカラ第二ノ方ハ其當否ヲ説明スベキ限ニアラズト是モ今日當否ヲ果シテ其處置ガ當ッテ居ルヤ否ヤト云フコトニ對シテ其當否ヲ説明スルコトノ限デナイト申シタ

○柴原和君 分リマシタ

○議長(公爵近衛篤磨君) 先刻御委託ニナリマシタ市制中東京市京都市大阪

市ニ於ケル特例廢止法律案外一件ノ特別委員ノ氏名ヲ御報道シマス、伯爵島

津忠亮君、子爵長岡護美君、男爵千家尊福君、男爵安場保和君、柴原和君、

男爵吉川重吉君、松本鼎君、關義臣君、富田鐵之助君此諸君ヲ煩シマス、他

ニ御委託ニナリマシタ特別委員ノ氏名ハ明日御報道致シマス、次ニ明日ノ議

事日程ヲ御報告致シマス

午前十時開議

第一 船舶法案

第二 北海道官設鐵道會計ニ關スル法律

第三 軍機保護法案(政府提出)

第四 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第五 香川縣下郡廢置法律案(議院送付)

第六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會ノ續(特別委員)

第一讀會ノ續(特別委員)

貴族院議事速記錄第九號 明治三十一年五月三十一日

第七 廣島縣下郡廢置法律案(政府提出案)

第八 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 登錄稅法中改正法律案(議院送付案)

第十 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

今日ハ散會

午後三時三十一分散會

第一讀會

